

第三回 帝國議會衆議院商法修正案審查特別委員會速記錄

(第二號)

(八五)

明治三十二年二月十六日午後一時二十八分開議

○委員長(大岡育造君) 是ヨリ商法ノ修正委員會ヲ開キマスル、前會御約束ニ從シテ、御質問ニナリマスルヤウニ……

○(花井卓藏君) 私ハ商法ノ中ニ附キマシテ、專ラ會社ニ附イテ質問ヲ致シ

タイノデアリマスルガ、成ルタケ自分ガ信シテハ重要ナルモノデアルト考ヘ

マスルモノヲ、御尋ヲ致シタインデゴザイマス、ソコデ委員長ニ私ノ一ツノ希望ガゴザイマスルノハ、委員長ハ私共ノ先輩トシテ嘗テ辯護士ノ業ニモ從事セラレ、又法律家トシテ吾ニ尊重スル所ノ人ゴザイマスカラ、此問題ニ付イテハ十分満足スル程度ニ達シマスルマデ質問ヲ御許ナランコトヲ希望致シマス、第一ニ質問致シタイ事柄ハ、第二條デゴザイマス、第二條ニ付イテノ質問ハ、公法人ノタメニ商行爲デナクテモ、其相手方ノタメニ商行爲デアル行爲ガアラウト思フ、其行爲ニ付キマシテモ、尙ホ二條ニ適用ト云フモノハ出來ル趣意ニナシテ居ルノデゴザイマセウカ、第三條ト參照シテ答辯セラレンコトヲ望ミマス

○政府委員(梅謙次郎君) 第二條ハ公法人ノタメニ、商行爲トナルモノニノ

○(花井卓藏君) 段々御質問モ多カラウト思ヒマス、成ルベク親切ト

○(花井卓藏君) 私モ一ミ委員長ト云フコトヲ述ベズニ、御許ヲ願ヒタイ

○(花井卓藏君) 委員長ト云フダケハ仰シャッテ下サイ

○(花井卓藏君) 第三條ニ附イテ質問ヲ致シマスルガ、私ノ考デハ、第三條

ノ末段ノ一方ガ數人アル場合ニ於テ、其中ノ或ル者ノタメ商行爲タル行爲ニ付イテモ亦同シト云フ事柄ガナイト、適用ニ苦シム場合が出來テ來ハシナ

イカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアル、ソレハ例ヲ以テ申シ上ゲマスレバ、茲ニ甲乙丙丁ノ四人ガ、當事者ノ一方デアル場合デアル、サウシテ其對手タル當事者ハ、戊ト云フモノガ一人デアル、サウシテ其行爲ト云フモノガ、甲乙丙ト云フ三人ノタメニモ、商行爲デナイト云フヤウナ場合が出來テ來ルダラウト云フ人ノタメニモ、商行爲デアツテモ、丁ト云フ人ノタメニモ、亦戊

ト云フ人ノタメニモ、商行爲デナイト云フヤウナ場合が出來テ來ルダラウト思フ、斯ノ如キ場合ニハ、之ヲ目シテ當事者ノ一方ノタメニ、商行爲タルモノト云フ事柄ハ言ヘマイト思フノデアル、此第三條ニハ、此例示致シマシタル場合ノ適用ト云フモノガ、私ガ申上ゲマシタル末段ノ規定ガナケレバ、出來マヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスガ、其邊ハ矢張此法文デ解釋が出來ルノデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウ、其點ハ單ニ私一個トシテ申スノデハナイ、商法ノ中ニモ、二百七十三條ノ法文ナドヲ讀ンデ見マスルト、矢

○(花井卓藏君) 私ハ商法ノ中ニ附キマシテ、專ラ會社ニ附イテ質問ヲ致シ

マスルモノヲ、御尋ヲ致シタインデゴザイマス、ソコデ委員長ニ私ノ一ツノ希望ガゴザイマスルノハ、委員長ハ私共ノ先輩トシテ嘗テ辯護士ノ業ニモ從事セラレ、又法律家トシテ吾ニ尊重スル所ノ人ゴザイマスカラ、此問題ニ付イテハ十分満足スル程度ニ達シマスルマデ質問ヲ御許ナランコトヲ希望致シマス、第一ニ質問致シタイ事柄ハ、第二條デゴザイマス、第二條ニ付イテノ質問ハ、公法人ノタメニ商行爲デナクテモ、其相手方ノタメニ商行爲デアル行爲ガアラウト思フ、其行爲ニ付キマシテモ、尙ホ二條ニ適用ト云フモノハ出來ル趣意ニナシテ居ルノデゴザイマセウカ、第三條ト參照シテ答辯セラレンコトヲ望ミマス

○政府委員(梅謙次郎君) 第二條ハ公法人ノタメニ、商行爲トナルモノニノ

○(花井卓藏君) 段々御質問モ多カラウト思ヒマス、成ルベク親切ト

○(花井卓藏君) 私モ一ミ委員長ト云フコトヲ述ベズニ、御許ヲ願ヒタイ

○(花井卓藏君) 委員長ト云フダケハ仰シャッテ下サイ

○(花井卓藏君) 第三條ニ附イテ質問ヲ致シマスルガ、私ノ考デハ、第三條

ノ末段ノ一方ガ數人アル場合ニ於テ、其中ノ或ル者ノタメ商行爲タル行爲ニ付イテモ亦同シト云フ事柄ガナイト、適用ニ苦シム場合が出來テ來ハシナ

イカト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアル、ソレハ例ヲ以テ申シ上ゲマスレバ、茲ニ甲乙丙丁ノ四人ガ、當事者ノ一方デアル場合デアル、サウシテ其對手タル當事者ハ、戊ト云フモノガ一人デアル、サウシテ其行爲ト云フモノガ、甲乙丙ト云フ三人ノタメニモ、商行爲デナイト云フヤウナ場合が出來テ來ルダラウト云フ人ノタメニモ、商行爲デアツテモ、丁ト云フ人ノタメニモ、亦戊

ト云フ人ノタメニモ、商行爲デナイト云フヤウナ場合が出來テ來ルダラウト思フ、斯ノ如キ場合ニハ、之ヲ目シテ當事者ノ一方ノタメニ、商行爲タルモノト云フ事柄ハ言ヘマイト思フノデアル、此第三條ニハ、此例示致シマシタル場合ノ適用ト云フモノガ、私ガ申上ゲマシタル末段ノ規定ガナケレバ、出

来マヤウニ考ヘラレルノデゴザイマスガ、其邊ハ矢張此法文デ解釋が出來ルノデゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウ、其點ハ單ニ私一個トシテ申スノデハナイ、商法ノ中ニモ、二百七十三條ノ法文ナドヲ讀ンデ見マスルト、矢

○(花井卓藏君) イヤ能ク分ル……

○政府委員(梅謙次郎君) 當事者ノ一方ノタメト云フノハ、一方ガ數人アル場合ニハ、其數人連帶ノタメデナケレバナラヌ、甲乙數人ノ場合ニ、一方ノタメニハ商行爲デアツテ、他ノ一方ニハ商行爲ガナイト云フトキニ、其行爲ヲ以テ往ツテ、雙方ノタメニ商法ノ規定ヲ適用スルト云フスラ、理論上カラ云ヘバ餘り穩當トハ云ヘヌケレドモ、實際ノ便宜上カラ此規定ヲ設ケタノデアル、然ルニ今ノ御話ノ如ク一方ハ一人デアル、其人ノタメニハ商行爲デナイ、他ノ方ハ四人デアル、其四人ノ内三人ノタメニハ、矢張商行爲デアル、唯四人ノ人ニノミ商行爲デアルトキハ、其人ニ對シテ勿論其者ト同ジ方ニ居ル所ノ他ノ三人ノ者及及ビ相手方、此四人ニ對シテモ同ジク商法ノ規定ヲ適用スルト云フコトニナシテハ、餘リ商法ノ適用ガ廣過ギルト云フコトニナルダラウトスウ思フ

○(花井卓藏君) ツレデハ矢張私ノ御尋申シマシタル如キ場合ハ、含マヌト云フ趣意ニナルノデスナ

○政府委員(梅謙次郎君) 其内商行爲トナルベキモノト、今ノ例ノ中確カ丁ト仰シャッタト思ヒマスガ、丁ノタメニハ商行爲デアル、其者トソレノ相手方タル戌、其間ニ於テハ商法ヲ適用スル、其他ノ三人ニハ商法ヲ適用シナイ

○(花井卓藏君) 第四條デアリマスガ、第四條ニ商人トハ云々商行爲ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ、斯ウアル、是ハ商法全體ニ瓦ルコトデゴザイマスガ、茲ニ書イテゴザイマス業ト云フ字ト、ソレカラ營業ト云フ字トノ間ニハ、意義ヲ異ニスルト云フ御解釋ニナシテ居ルノデゴザイマセウカ、些々タル事ノヤウデゴザイマスガ、商法ノ中ニハ營業ト云フ文字モアリ、或ハ業ト云フ文

字モアル、其邊ノ御考ヲ伺ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 同ジ意味ノ積リデアリマス

○(花井卓藏君) 第六條ニ附イテ質問ヲ致シマス、私ノ考デハ、此六條ノ法文ノ意味ハ甚ダ分ラヌノデアルノデアル、寧ロアラズモガナノ法文デハナイ

カト考ヘルノデスガ、ソレハ此第六條ト云フモノハ、會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ許サレタル未成年者又ハ妻ハ其會社ノ業務ニ關シテハ之ヲ能力者

ト看做スト、斯ウ書イテアル、併ナガラ此民法竝ニ商法中ヲ取調ベテ見マシテモ、此未成年者或ハ妻ガ會社ノ無限責任社員トナルニハ、法定代理人或ハ夫ノ許可ヲ要スル規定ト云フモノハナイノデアリマス、然ルニ此第六條ニ於

-1

テ突然會社ノ無限責任社員トナルコトヲ許サレタル未成年者又ハ妻ハ云々ト云フヤウナ事柄ニナツテ居ルノハ、殆ド其趣意ノアル所ヲ知ルニ苦シムノデアル、又單ニ能力者ト看做スト規定セラレタトキニハ、未成年デアルトカ、或ハ又妻ガ準禁治產者デアルト云フ場合ノ如キ、或ハ又禁治產者デアルト云フガ如キ場合ニ至ツテモ、矢張此法文ノ趣意ニ依ツテ、能力者ト看做サル、ガ如ク、解シ得ラレルヤウニナルノデゴザイマス、是ハ實質ニ附イテ私ノ疑ヲ抱ク點デアル、ソレカラ又形式ノ上カラ考ヘルト、會社ヲ以テ法人ト致シマスル以上ハ其無限責任社員ハ、會社ガ商業ヲ營ムガタメニ、商人トナルノデハ勿論ナイ、商人ニアラザル無限責任社員ニ關スル規定ト云フモノヲ、此第一編ノ二章ノ而モ商人ト書イテアル所ノ條ニ於テ、御規定ニ相成ルト云フコトハ、法典ノ形式カラ見テモ、頗ル不完全ノヤウナ考ヲ持ツテ居ル、即チ實質ニ於テノ非難ハ、前段ニ申上ダマシタル通、形式ニ就イテノ疑ハ、唯今申ス通デアリマスガ、矢張此六條ト云フモノハ、私ノ非難ト云フモノハ、間違ツテ居ルト云フ如キ趣意ニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 第一ノ點ニ對シマシテハ、此未成年者ト云フモノハ、民法第四條ノ規定ニ依ツテ、如何ナル法律行爲ヲ爲スニモ、法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要スト云フコトガ本則デアル、同意ト云フ文字ハ、廣ク使ヒマスルトキハ、何時デモ同意トゴザイマスガ、併シ許スト云フコトガ、即チ同意ト云フコトデアルト云フコトハ、私ノ説明ヲ要サヌト思ヒマス、民法中ニモ許スト云フ文字ヲ使ツタ所ガアリマス、殊ニ未成年者ト妻ト合セテ申シマスレバ、妻ニ付イテハ同意ト云ハズ、許可ト云フコトヲ云ツテ居リマス、ソレデ其兩方ヲ含ムタメニ、平タク唯許サレタルト云フ文字ヲ使ヒマシタ、未成年者ニ於テハ、單ニ權利ヲ負ヒ義務ヲ免ル、行爲デナイ以上ハ、法定代理人ノ同意許可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスカラ、申得ナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、所デ會社ノ無限責任社員トナル場合ニハ、十ノ八九ハ重要ナル動產ノ得喪ニ關スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ夫ノ許可ヲ要スル點ガ多イノデ、其許可ヲ得タル場合ハ云ミト云フコトニナリマス、而シテ其第一問ノ中ノ第二段ニ於テ、花井君ガ禁治產者ト準禁治產者ガアツクナラバ、ドウカト云フ御尋デアリマシタガ、ソレハ外ノ規定ニ於キマシテモ、單ニ未成年者單ニ妻ト見ルト、其外ノ能力ニ欠點ノナイ以上ヲ假定シテ、何時デモ云フノデアリマス、禁治產者準禁治產者ハ此限りデナイト云フコトハ、茲ニハ云ツテ居リマセヌケレドモ、ソレハ他ノ規定カラ出ルコト、考ヘマス、第二ニ形式上ニ於テ第六條ヲ此所ニ入レタノハ、其當ヲ欠キハセヌカト云フ御論ノヤウデスガ、体裁ノコトハ固ヨリ人ミノ見ヤウモアリマセウガ、成程此所ニ這入ルベキモノノデハナイト云フコトモ、

理窟ノアルコト、思ヒマスガ、併シ商法ハ——商事會社即チ商法デ云フ會社ニ關スル規定ヲ包含シテ居ルノデ、會社ノ社員トナツテカラ後ノコトハ會社ノ社員ニ規定スルノガ穩當デアリマスガ、會社ノ組織前ノコトハ會社ノ方ニ規定スルノハ、ドウモ穩當デナカラウ、而シテ苟モ商法ニ規定スル以上ハ、外ニ適當ナル場所ガナイカラ、丁度此五條ニ於テモ、未成年者妻ガ商業ヲ營ム場合ガアツテ、稍ニ類似シタル場合デアリマスカラ、是ト合セテ規定シテモ体裁ヲ缺クコトハナカラウト云フノデ、純然タル理論上カラハ、或ハ反對ノ意見ガ出ルカモ知レマセヌガ、体裁上ハヒドク是デ誤ツテ居ルコトハナカラウト吾々ハ考ヘタノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 倘ホ此第六條ニ付イテ、形式上ノ疑ニ付イテハ、民法ノ第一編第一章ノ下ニ人ノコトガ規定シテアル、其第二節ニ能力ノコトガ規定シテアリマス、デ商法ニアツテハ、民法ノ第一編第一章ニ於ケルガ如ク、細カク節ヲ別ケテ規定シテハアリマセヌガ、詰リ民法ノ第一章人ト云フ所ニ當ル規定ハ、茲ニ先づ大体集メテシマツテモ、民法編纂ノ形式カラ云フテモ、左程批難スペキコトデハナカラウ、丁度此第六條ニ當ルガ如キ規定ハ、民法ノ第一章人ト云フ所ノ下ニ規定シテアル、ソレカラ比較シテモ不穩當デアルト云フコトハナカラウト考ヘマズ

○(花井卓藏君) 今度ハ第七條デ御尋致シマス、七條ノ一項ニアルノデスガ、此「後見人ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ」ト云フコトガアリマス、是ハ何人ノ加ヘタル制限ヲ謂フノデアリマスカ、ソレカラ矢張同ジ所デアリマスガ、第二項ノ唯今ノ所ニ牽聯スルコトデゴザイマスガ、此第二項ト云フモノハ、後見人ノ一切ノ行爲ニ付イテ之ヲ適用セラル、ノデアルカ、或ハ商法ニノミ適用セラル、ト云フ趣意デアリマスカ、此二點ノ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 第一ノ御問ニ對シマシテハ、此後見人ト云フモノハ、如何ナル權限ヲ持ツテ居ルモノカ、如何ナルモノ、監督ノ下ニ居ルモノカト云フコトハ、民法ニ規定シテアリマス、其規定ニ依ツテ見マスルト、後見人ハ親族會ノ監督ノ下ニ於テ有ルトアラユルコトニ付イテ、親族會ガ後見人ニ注文シタリ、又ハ許可ヲ與ヘタリスルコトハ、出來ルヤウニナツテ居リマス、殊ニ稍ニ重大ナルコトハ、民法ニ於テ親族會ノ許可ヲ得ケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマス、故ニ親族會テ後見人ニ是ニ以上ノ行爲ヲスルニ付イテハ、一ミ親族會ノ許可ヲ受ケテヤレト云フコトヲ議決スルコトハ随分アラウト思ヒマス、斯ノ如キ場合ニ於テ、後見人ト親族會トノ關係、若クハ後見人被後見人ノ關係カラ言ヘバ、無論其決議ニ從ハナケレバナリマセヌガ、第三者ガ善意デアレバ、其制限ニ反シテ、千圓以上ノ行爲ハ獨斷デヤツテハナラヌト云フノヲ、千圓以上ノ行爲ヲ獨斷デシテモ宜カラウト云フノデアリマス、第二ノ御尋ニ附イテハ、商法ニ無論規定シテアリマスカラ、廣く書イテアツテモ、商法以外ニハ及バヌ積リデアリマス

○(花井卓藏君) 第十條ニゴザイマス別段ノ定ト云フノハ、如何ナル規定ヲ指スノデゴザイマスカ、併セテ御尋シタインハ、各本條ニ於キマシテハ、一々本店及支店ノ所在地ニ於テ、登記スペキ事柄ガ規定セラレテアルノデゴザイマスカラ、此第十條ノ規定ト云フモノハ、固ヨリ重複スル嫌ガナイカト考ヘルノデアリマスガ、矢張重複シナイト云フ御趣意デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御説ノ如ク大概ノ場合ニハ登記スペキ事項ハ、先づ本店及ビ各支店ニ於テ登記セヨト云フコトニナツテ居ル、此十條ニ當ル場合ハ、一例ヲ舉ゲレバ、第二十九條ニ牽聯シテ、即チ第三十一條ノ趣意デアリマス、第三十一條ニ於テハ「支配人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ置キタル本店又ハ支店ノ所在地ニ於テ主人之ヲ登記スルコトヲ要ス」ト云フ三

○(花井卓藏君) 私ノ今御尋ネシタ趣意ヲ御了解ニナラナカッタト思ヒマスガ、第八條ハ唯小商人ノ商號ニ關スル規定ヲ適用セザルニ止マルノデアルカ、私ノ問ハントスル所ハ、小商人ガ商號ヲ用井ルコトマデモ出來ナイ、其權利マデ奪フト云フ法文ノ趣意ニナルノデアリマスカト、斯ウ云フ趣意デス、辭ヲ換ヘテ言ヘバ、小サイ商人ガ一ノ商號ヲ用井ルト云フ事柄ハ、毫モ法律ノ上デハ不法デハナインデアリマスカ、ドウカト云フ問デアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 商號ト云フノハ、固ヨリ文字ハ非常ニ廣イノデ、商號ト廣ク云ヘバ、占有權ノ利益ハ問ハヌノデアリマス、併ナガラ法律上ドウスウ云フ意味ハ、此所ハ即チ其權利ニ關シテ云フノデアル、先刻モ申シマシタ通り、商號ニ關スル規定ヲ適用セスト云フ中ノ主トシテ云ハントスル所ハ、商號上ノ權利ヲ取得スルコトガ出來ヌト云フ點ニ在ルノデス、從ツテ其結果カラ出テ來ル規定ハ、自カラ適用セラレヌノデアリマス、併ナガラ小サイ商人ト云フモノハ、自分ノ勝手ニ或名前ヲ付ケテ、自己ノ商號トスルノハ差支ハナイ、併ナガラ外ノ小商人デナイ商人デ、隣デ同ジ商號ヲ用井テモ、小商人ノ方カラ云フト權利ガナイ、商號上ノ保護ヲ受ケルコトハ出來ヌト云フノデアリマス

○(花井卓藏君) 第十條ニゴザイマス別段ノ定ト云フノハ、如何ナル規定ヲ設クルコトヲ得ザルコトマデモ包マレテ居ルノデアリマスカ、如何デスカ居ルノハ、權利ノ側ヲ見テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此商號ニ附イテノ規定ハ、單ニ商號ヲ使用スル、所謂占有權ノミニ關スルノデハアリマセヌケレドモ、併ナガラ占有權カラ續イテ出テ來ル結果ハ、矢張商號ニ關スル規定デアリマス、デ、此第八條ノ商號ニ關スル規定ヲ適用スルト云フ主トシテ云ハントスル所ハ、商號上ノ權利ヲ得ルコトハ出來ヌト云フコトガ、重モナルコトデ、即チ商號上ニ關スル權利ヲ得ルコトガ出來ヌト云フ結果カラ、從ツテ商號ヲ他人ニ譲渡スト云フ權利ヲ執行スル方法モ、自ラ制限スルト云フコトニナリマス

十一條ノ規定ガアル、是ハ本店ニ支配人ヲ置イテモ、其支配人ノ登記ハ本店ダケデ宣イノデ、必シモ之ヲ支店ニ登記スルニ及バヌ、第二ノ他ノ規定ト重複シテ居ルデナイカト云フ御尋ハ御尤デアル、併ナガラ此第十條ニ云フ所ノ登記ト云フモノハ、特ニ登記セヌカラト云ウテモ、別段ニ直接ニ制裁ヲ加ヘテ居ルノハナイ、而シテ又何時マデモ登記セヨト云フコトハ、法律ハ命ジテナイケレドモ、會社ノ部ハ多分會社ノ方カラノ御疑デアリマセウ、會社ノ方ハ二週間以内ニ其本店及ビ支店ノ所在地ニ於テ、斯ルコトヲ登記セヨト云フコトノ規定ハシテ居ルガ、此方ハ期間ガナニ、特ニ其期間ヲ怠ツタキハ、制裁ガナケレバ御說ノ如ク自然重複ヲスル、十條ノ一般ノ規定ヲ受ケテ差支アリマセヌガ、併ナガラ會社ノ方ニハ、期間ノ定メガ第一アル、其期間ヲ怠ツタモノハ、制裁ヲ受ケル、料料ニ處セラル、ト云フ制裁ガ、會社ノ罰則ニ規定シテアリマスカラ、十條丈デハ足ラヌノデ、一々先ニ往ツテ斷ツテアル

○(花井卓藏君) 今度ハ十二條ニ付イテ質問致シマスガ、十二條ニ「登記スヘキ事項ハ登記及ヒ公告ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」ト書イテアル、此法文ノ趣意通りニ致シマスレバ、勿論惡意ノ第三者ニハ、對抗スルコトガ出來ルノデアラウト思ヒマスガ、サウ云フ主義デゴザイマセウカ、ドウデセウカ、ソレカラ正當ノ事由ト云フ事柄ガ後段ノ方ニアル、即チ「登記及ヒ公告ノ後ト雖モ第三者カ正當ノ事由ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキ亦同シ」ト書イテアリマス、其正當ノ事由ト云フコトハ、如何ナル意味デゴザイマスカ、即チ登記ノアルコトヲ知ラザリシ正當ノ事由カ、或ハ又登記スベキ事項ノアルコトヲ知ラザリシ正當ノ事由カ、正當ノ事由ト云マテハ、漠然トシタ問デアルガ、私ノ言ツタ一ツノ點ニ出デヌダラウト思ヒマスガ、是ハ後ニ爭ノ生ズル箇條ト思ヒマスカラ、御尋ネ致シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一ノ御疑ハ、之ハ民法商法全体ニ通ジテ、全体ニ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズト云フ文字ガ澤山アルノデ、殊ニ善意ト云フコトヲ云ウタノハ、御疑ノアルノハ、惡意ノ第三者ガアツタナラバ、例ヘ登記公告ヲセヌデモ、對抗ガ出來ルト云フ意味デアル、第二ノ正當ノ事由ト云フコトハ、固ヨリ正當ノ事由ト云フコトハ、文字カラ云フト甚ダ漠然タルコトデアリマスケレドモ、併ナガラ第十二條ノ正當ノ事由ト云フ文字ヲ當候メテ云フノハ、登記及公告ヲ爲シタ後ト雖モ場合ニ依ルト此登記公告ノアツタト云フコトヲ知ラナイ、從ツテ登記スベキ事項ガ既ニ登記サレタノカ、公告サレタノカト云フコトガ分ラヌト云フコトニナルノデアル、詰リ結局ハ登記及公告ノ後トデナケレバ、對抗ガ出來ヌト云フコトハ、登記及公告ノ後ト雖モ第三者ガ正當ノ事由ニ依リテ其事ヲ知ラザリシト云フ、先ツニツコ合セテト云フコトヲ知ラナイ、登記スベキ事項ヲ登記シ、且ツ公告シテモ、其登記公實質上カラ解釋スルト、登記スベキ事項ヲ登記シ、且ツ公告シテモ、其登記公告ノアツタト云フコトヲ知ラナイ、登記公告ガナクテモ登記スベキ事項ノモ第三者ガ正當ノ事由ニ依リテ其事ヲ知ラザリシト云フ、先ツニツコ合セテアツタト云フコトヲ知レバ、第十二條ノ前段ノ方デ對抗ガ出來ルコトニナル

此質問ニ對スル答辯ノ中ニ、是等ノ規定ト云フモノハ、民法ニモ幾ラモアルノデアルト云フコトデゴザイマス、成程民法ニモ幾ラモアルノデゴザイマスガ、民法ノ登記ニ關スル規定ト、商法ノ十二條ノ規定トハ、私ハ頗ル範圍ニ廣狹ノ差ガアルノミナラズ、寧ロ抵觸ヲシテ居ルカノ疑ヲ抱イテ居ル、即チ民法ノ第百七十七條ヲ御参照ニナツタナラバ、私ノ言ノ必シモ不當デナイ事柄ガ御分リニナルノデアリマス、民法ノ百七十七條ニハ前略「其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」ト、斯ウ書イテアル、即チ範圍ノ上カラ云フト、民法ノ方デハ、意思ノ善惡ヲ問ハヌト云フ點ガアルノデアリマス、此民法ノ條文ヲ御参照ノ上デ御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今御引例ニナツタ所ノ民法第百七十七條ト、商法ノ第十二條ハ違フノデ、求メテ違ヘタ、同ジ登記デアリマスケレドモ、商法登記ト不動産登記ト、同一ノ趣意ヲ取ラナカツタ、ソレデスカラ其違フト云フコトヲ岡野政府委員カラ申シマシタノデス

○(花井卓藏君) サウスレバ百七十七條ノ趣意トハ、確ニ抵觸スルコトハ御外ニ許多アリマス、一二ノ例ヲ申シマスト、民法ノ第五十四條ニ「理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」トカ、ソレカラ又例ヘバ第九十六條ニ「詐欺ニ因ル意思表示ノ取消ハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス」是等ノ場合ト、本條ノ場合トハ、同ジ意味デアルト云フコトヲ岡野政府委員カラ申シマシタノデス

○認メニナリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 抵觸デハアリマセヌガ、場合ガ違フカラ、規定ヲ異ニシテ居ルト云フコトヲ申シタノデス

○(望月長夫君) 此公告ノコトニ付イテチヨット御尋ヲシテ置キマスガ、此法律デハ、公告ノ方法ガ極メテアツタ、一ノ新聞紙ヲ選ンデドウスルトカ云フコト、サウ云フコトハ商法ノ施行法デモ御出シニナツテ、御極メニナルコトデアリマスカ、ソレカラ……

○委員長(大岡育造君) ドノ條ニ付イテノ御質問デスカ

○(望月長夫君) 十一條ノ總テ公告ト云フコトニ付イテ……

○政府委員(田部芳君) 唯今ノ御尋ノコトハ、非訟事件手續ノ第百四十四條ニ其事ガ極マツテ居ルノデス、即チ公告ハ官報ト新聞紙上ニ於テ之ヲスルト云フコトガ極シテ居リマス

○(望月長夫君) サウスルト株式會社ノ第百二十條ノ所ニ會社ガ公告ヲ爲ス方法ト云フコトガ書イテアリマスガ、是ハ矢張今ノ非訟事件ノ方デ極シテ居ル以外ニ、其會社ガ特ニ取ル公告方法ヲ極メタノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今御尋ノ非訟事件ノ方ハ、裁判所デ公告ヲスル方法デス、會社ノ方ノ第百二十條ニアリマスルノハ、會社ガ其會社ノ事柄ヲ公告スル方法ヲ定メタノデス

○(望月長夫君) 法律デ命ジタ方法ノ外ニ……

○(後藤文一郎君) チヨット私ノ伺ヒマスノハ、段々今花井君カラ御質問ガアリマシタガ、大抵是ハ或ハ一篇ノ一章トカ二章トカ或ハ三章トカ質問ヲ致シマス、所謂區切デスナ——ソレヲ定メテノ會ニナリマスカ、或ハズウツト往シテ、ドコマデモ往クト云フヤウナコトニナリマスカ、願クハ一章一章ニ區別ヲ附ケテ參リタイト思ヒマスガ、其邊ハ如何デ宜シウゴザイマス

○委員長(大岡育造君) 先刻ハ明カリ定メマセヌガ、會社ノコトニ附イテト云フ題目ノ下ニ質問ガ始マツテ居ルノデス、少シ廣クナルカ知レマセヌガ……

○(後藤文一郎君) 私モ質問ノコトガアリマスガ、花井君ガ大分調ベテ居ラレマスカラ、花井君ノ御質問ノ後デ一、二伺ヒマス

○(花井卓藏君) 十四條ニ附イテ質問ヲ致シマス、十四條ニ前略「之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得」ト云フコトガ書イテアリマスガ、此分ハ善意惡意ノ區別ガゴザイマセヌガ、兩々共ニ包含スルト云フ法文ノ趣意デアリマスカ

○(花井卓藏君) 分リマシタ、今度ハ十六條ニ付イテ御尋ヲ致シマス、十六條ノ規定ハ、歷史上日本ニハ大切ナル關係ヲ有ツテ居ル問題ナノデアリマス、即チ商號ニ關スルコトデアリマスガ、我國ニ於テハ、往古ヨリ此商人ガ商號ヲ貴重スルト云フコトハ、容易ナラヌ話デアツテ、所謂暖簾ト云フヤウナモノガ、ソレニ當ルモノデアラウト思フノデス、サウシテ商賣人ノ中ニ於テ、或ハイ扁ノ經節ト云フガ如キ、即チイ扁ヲ以テ商號トシテ來テ居ルト云フコトガアリマス、或ハ山ヲ二ツ斯ウ並ベテ書イテ、繪フ見タヤウナモノハ、政府委員ハウナモノモ商號トナシ來シタ家ガアル、サウ云フヤウナモノハ、政府委員ハ御認ニナルコトデアリマセウカ、隨分或場合ニ於テハ大切ナノデ、東京ノ市中モイ扁ト云ヘバ、誰デモ知ラヌモノハナイガ、其家ノ名前ガ何ント云フカ分ラヌト云フ場合ガアル、然ルニ十六條ニ「商人ハ其氏氏名其他ノ名稱ヲ以テ商號ト爲スコトヲ得」斯ウアリマス、是デハ商業上ニ關スル商號ノ歴史上ノ慣習ヲ破ルト云フ嫌ガアリハシナイカト思ヒマスガ、是ハ都鄙一般ニ大影響ヲ來ス規定デアラウト思ヒマスカラ、チヨットコ、ヘ書キマシタガ(ト)言ヒツ、書類ヲ梅政府委員ニ渡シ)ツレ等ハ即チ其他ノ名稱ト云フ中ニ這入ルノデスカ、這入ラヌノデスカ、其中ニイ扁モ這入シテ居リマス

○政府委員(梅謙次郎君) 物ノ形カラ出マシテモ、ソレガ商號トナツテ居レ

バ宜イ、此處ニ形ガアル、其形ヲイ扁ト言ヒ、或ハ山ト云フヤウナモノハ、ソレハ商號ニナラヌト思ヒマス、場合ニ依ツテ商標ニバナリマスガ、商號ニハナラヌト思ヒマス

○(花井卓藏君) サウスルト從來日本ノ商人ノ歴史デ用井來ツテ居ル商號ト云フモノハ、商號トシテ法理上御認メニナラヌノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 商號ト云フモノハ、實ハ此法律若クハ此前ノ商法デ始メテ認メルノデゴザイマス、從來ハ此商法ニ云フ所ノ商號ハナカツタ

云フテモ宜イ、只今ノ如キモノハ餘程類シタモノデアリマスガ、併ナガラ是ハ名デナクチヤアナラナイ、デ、名ト認メルモノハ、格別形ヲ唯一定ノ稱ヘ方ヲスルト云フダケデハ、マダ商號ト云フモノニハ、此法律デハ認メナイン

○(花井卓藏君) 尚ホ其點ニ付イテ御尋ネシマスガ、イ扁ニ付テ一言シタ

イ、此商法ガ實施ニナル折ニイ扁ノ鰹節屋ノ隣ニ又イ扁ノ鰹節屋ト云フガ如キモノガ出來テ、イ扁ト云フ名前ヲ以テヤクテモ、差支ナインデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハサウ考ヘマセヌ、不正ノ競争ト云フモノハ、不法行爲デアルト思ヒマス、不正ノ競争ハ不法行爲トシテ、民法ノ制裁ヲ受

クベキモノニアリマスガ、唯商號ヲ用ヰテ不正ノ競争ヲ爲ス場合ハ、二十條

ニ規定シテアリマス、其他ノコトハ商法ニ規定シテアリマセヌ

○(花井卓藏君) 尚ホ矢張此商號ノコトニ付イテ御尋ヲスルノデアリマスガ、會社ハ社員ノ氏或ハ社員ノ氏名ヲ以テ商號トナスコトガ出來ル、例ヘバ

一ノ會社ガアツテ、委員長ノ御干與ノ會社デアレバ、大岡會社、或ハ大岡育

造會社ト云フヤウナ理窟ニシテモ、ソレハ商號ニナルノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 苓モ十七條ノ文字ヲ加ヘマス以上ハ、差支ナイ積

リデス

○政府委員(梅謙次郎君) 差支ナイ

○(花井卓藏君) 數人アル社員デモ……

○政府委員(梅謙次郎君) 差支ナイ

○(花井卓藏君) サウスルト大岡育造合名會社ト云フ名義デ宜イノデアリマスカ

○(花井卓藏君) サウスルト大岡育造合名會社ト云フ名義デ宜イノデアリマスカ

○(花井卓藏君) 數人アル社員デモ……

○(花井卓藏君) 差支ナイ

○(花井卓藏君) 十八條ニ付イテ御尋ネシマス、商法ニ規定セラレテゴザイ

マスル會社ト云フノハ、曰ク合名會社、曰ク株式會社、曰ク

株式合資會社、此四種ニ限ラレテ居ル、即チ商法ノ四十三條ニ其事柄ガ規定

セラレテアルノデゴザイマス、ソレカラ其會社タルコトヲ示スベキ趣意ト云

フモノハ、十七條——即チ前條ノ十七條ニ規定セラレテ居ルノデアル、ソレ

故ニ會社デナイモノハ、合名會社、合資會社、株式會社、株式合資會社等ノ

文字ヲ其商號中ニ用ヰルコトハ出來マスマイケレドモ、唯單ニ合名ノ字ヲ削

リ、合資ノ字ヲ削リ、株式ト云フ字ヲ削リ、株式合資會社ト云フ字ヲ削テ、

唯會社ト云フ文字ヲ用ヰルコトガ出來マスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ十八條デ禁ジマシタ積リデス

○(花井卓藏君) 私ハ十八條デ禁ゼラレヌト思フカラ、此質問ヲシタンデスガ、會社ハ唯今申ス如ク商法ハ四種ニ限定ヲシテ居ツテ、商法ノ中ニハ單純ニ

會社ト云フモノヲ認メテ居ラヌノデス、故ニ會社ト云フ文字ヲ用ヰマシテモ、商法ニ所謂會社ト云フモノニハ屬セヌト云フ主義デアリマスカラ、一向御説明デハ足リヌ如キ感ヲ爲スノデアリマス、私モ政府委員ト同ジク左様ナ文字ヲ用ヰルノヲ禁ジタイカラ、到底含マレヌト云フナラバ、修正ヲ致シタイト

思ヒマスカラ、御尋ヲ致スノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 如何ニモ商法ニ於テ認メテ居リマスル會社ハ、合名會社、合資會社、株式會社、並ニ株式合資會社ノ四種デアリマスガ、商法ニ規定シテアリマス、而シテ現ニ外國會社ノ如キハ、必シモ我商法ニ定メマシタ

四種ノ中ニ這入ル譯ニハ往キマセヌ、故ニ登記等ニ付イテモ、類似シタル會社ノ種類ニ付イテハ、直チニ登記ヲ爲スト云フ規定ヲ設ケタ位デアリマシテ、單ニ會社ト云ツテモ矢張リ其文字ハ商法テ云ヘバ、即チ會社、ソレハ合

名會社カ何カ知ラヌガ、商法ノ所謂定義ニ當嵌ルト云フコトヲ信ズルノデアルカラ、會社ト云フ文字ハ、無論這入リマス積リ

○(花井卓藏君) 十九條ニ付イテ御尋ネ致シマスルガ「商號ハ同市町村内ニ於テ同一營業ノ爲メニ登記スルコトヲ得ス」トアル、同市町村内ト云フノハ、營業所所在地ヲ標準トスルノデアリマスカ、會社ノ事務所ノ如キヲ標準ト致スノデアリマスカ、ソレヲ非訟事件手續法ノ第百五十八條等ノ關係ト相

對シテ、御尋ヲ致シタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 此商法ノ登記ハ是ハ營業ニ付イテ爲スノデアリマスカラ、ソレデ營業所ニ於テ爲スノデアリマス、是ハ舊條ニ於テ明カデアルト

ト判然區別シ難イトキハ、登記ヲ許サヌ、此同市町村内デアルニ依ツテト云

フ意味合テ、此營業所ト同一市町村ト云フ意味デアリマス

○(花井卓藏君) 今ノ御説明デ能ク分リマシタ、故ニ尚ホ此十九條ノ末段ニ

「他人カ登記シタル商號ト判然區別スルコトヲ得サル商號又同シ」ト云フ文字

ヲ加ヘヌト云フト、非訟手續ノ百五十八條ト相俟ツコトガ出來ヌ規定トナル

ト思ヒマスガ、之ヲ加ヘヌデモ、矢張商法ト非訟事件手續法トハ、抵觸モ矛盾

モセヌト云フ御考案デアリマスカ、是モ若シ私ノ申シマス通リナラバ、修正

ヲシナケレバナラヌシ、又政府委員ノ答辯ガ適當ナラバ、質問ダケニ止メテ

置クト云フ積リデアリマスガ……

○政府委員(梅謙次郎君) 此登記シタル商號ト云フ意味ハ、第十九條ダケデ

ハ、或ハ判然セヌカ知ラヌガ、意味ダケハ分ツテ居ル、ソレハ同ジ商號ハイカヌト云フ意味デアル、同ジト云フコトガドレダケノモノヲ同ジト認メルカ

ト云フコトハ、ドウモ分ラヌ場合ガアラウガ、ソレデ非訟事件手續法ノ百八十五條ハ、登記官吏ノタメニ斯ウ云フ規定ヲ設ケテ置イテ、實際ニ於テ十九

條ノ趣意ガ行ハル、ヤウニシタイト云フコトデアリマス、無論此規程タルヤ、商法ニ於テモ差支ナカッタカ知リマセヌガ、商法施行法ニ於テモ差支ナカラウ、抵觸スルノデハナイト云フ積リデアリマス

○(關直彦君) チヨット此十九條デアリマスカラ、御尋致シマスガ、同市町トアリマスガ、町村ハ勿論タイシタコトモアリマスマイガ、市ト云フコトニナルト、一ツ「越後屋」ト云フ商号ヲ登記シタラ、東京中デモウ「越後屋」ト云フ名デ吳服屋が出來スト云フコトニナリマシテ、餘り廣イコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、ソレハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 多分此議會ニ既ニ提出ニナリマシタカ、將ニ提出致サントシテ居リマスカ、商法施行法案中ニ一箇條ヲ設ケマシテ、第十四條ニナリマスルガ、東京市京都市及大阪市ニアッテハ其各區ヲ以テ市町村ニ準

メトナツテ居リマス

○(關直彦君) 區ト申シテモ、日本橋區ニ「越後屋」ト云フノガ一軒アレバ、外ノハイケヌト云フコトニナリマスルト、隨分窮窟ト思ヒマスガ……

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ已ムコトヲ得ヌト考ヘマス

○(花井卓藏君) 第二十條ニ付イテ質問致シマス、同一ノ營業ノタメニ同一又ハ類似ノ商号ト云フモノヲ使用スルノデナクシテ、單ニ營業ノタメニ同一又ハ類似ノ商号ヲ使用スル者ガアルコトヲ矢張リ二十條ノ中ニ包含スルノデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 原則トシテ包含セラレテ居ル、ソレ故ニ第二項ノ推定が必要ニナツテ來ル

○(花井卓藏君) 尚ホ御尋致シマスガ、私ハ原則トシテハ、寧ロ包含セヌ方ガ本當デハナイカト思ハレル、ト云フハ商号ト云フモノ、權利ヲ妨グルト云

フコトハ、商号ニ伴フ營業ノ權利ヲ妨グルト云フコトガ、實体デナケレバナラヌモノデアル筈ニ、其他ノ商賣ノタメニ同一類似ノ商号ヲ用井タ所ガ、毫モ

差支ナイ、例へバ關君唯今御尋ニナツタ如ク「越後屋」ト云フ商号ヲ三井何某ガ持ツテ居ルノヲ他ノ人間ガ「越後屋」ト云フ商号ヲ用井テ、紙ノ取引ヲスルト云フコトハ、二十條ニ包含スルコトデハナイト思フ、又事實ト云ツテ、サウ解釋ヲシテ相當ト思ヒマスガ、サウスルト政府委員ノ解釋ニ依ルト、先

づ商號ノ區域ガ非常ニ狹隘ニナツテ、民事上ノ犯罪人バカリ殖エルト云フ結果ニナリマスガ、ソンナコトニハ法律マデガナイノデアリマスルカ

○政府委員(梅謙次郎君) 私ガ原則トシテト申シマシタノハ、即チ法文ノ解釋トシテ原則トシテハト云フコトデアリマシテ、實際ハドウカト云ヘバ、寧ロ花井君ノ仰セノ如ク同一ノ營業デナケレバ、二十條ノ第一項ノ不正ノ競争

ト云フコトハ出來マイト思フ、稍ミ類似ノ商法ニ至ルト、時トシテ無イトハ言ヘヌカラ、ソレデ二十條ノ解釋トシテ原則トシテハト云フコトヲ言ハナケ

レバナリマセヌノデアリマス、實際ハサウ云フコトハ稀デアラウト存ジマス

○委員長(大岡育造君) 序デニ伺ツテ置キマスルガ、實際ハ宜シイト云フ政府委員ノ御考デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 不正ノ競争ノ目的ヲ以テスルノハ、總ティカヌ、併ナガラマルデ商賣違テアレバ競争ガ出來マセヌカラ、同ジ商号ヲ用井テモ競争ノ種ニナラヌカラ、多クノ場合ハソレデ妨げナカラウト申シタノデス

○委員長(大岡育造君) 實際ニ於テ私ガ今記憶シテ居ル所デ、三井ト云フ商號ヲ同ジ區内デ三箇所アル、三井銀行、ソレカラ三井吳服店、三井物產會社、今ハ區ガ礪山會社ハ違ツテ居ルヤウニ思フガ、斯ウ云フノハ澤山アル

○政府委員(梅謙次郎君) 同ジ商号ヲ異ツテ居ル營業ニ用井テ居ルモノハ、澤山アル、ソレハ差支ヘマセヌ

○(花井卓藏君) 矢張二十條デスケレドモ、私ハ答辯ガ能ク分ラヌデスガ、不正ノ競争ノ目的ヲ以テ、法文ニ書イテアル、不正ノ競争デアレバ、同一ノ商號ヲザルヲ得ヌデヤナイカト考ヘル、紙屋ト吳服屋デハ、營利ノ上ニ於

テノ競争ガ或ハアルカモ分ラヌガ、商號ニ關係シテノ競争ノ目的ト云ヘバ、矢張リ吳服屋ト吳服屋デナカラヌケレバナラヌ、紙屋ト紙屋デナカラヌケレバナラヌト思フ、二十條ノ原則トシテハ、先刻御尋申ス如ク廣ク含ム事柄デアルト云フト、非常ニ不便デアルト云フヨリハ、不都合デハナイカト私ハ考ヘル

○政府委員(梅謙次郎君) ソレ故ニ實際ハ同商號デナケレバ、不正ノ競争ト云フコトハ殆ド有リ得ヌデアラウト云フコトヲ申上ゲタ

○(花井卓藏君) 此一項ニゴザイマスル推定ト云フノハ、反證ヲ許サヌト云フ御趣意デゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 推定ト申スノハ、總テ反證ヲ許スノデゴザイマス

○(花井卓藏君) 二十一條ニ付イテ質問致シマス、營業ト共ニセズデスナ、單ニ商號ノミヲ讓渡スト云フコトガ出來マスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ出來マス

○(花井卓藏君) ソレカラ矢張同條ニ付イテノ質問アゴザイマスガ、此二十

一條トソレカラ十二條デスナ、十二條十三條十四條トノ關係ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタク、即チ二十一條ハ惡意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ベキ時期ノ初メヲ規定セラタモノデアツテ、善意ノ第三者ニ付イテハ、讀上ゲタル十二條十

三條十四條ノ規定ニ從フト云フ趣意デゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 二十一條ハデスナ、是ハ廣ク第三者ト云ツテアリマスカラ、ソレデ惡意ノ第三者ニ對シテモ對抗ガ出來ナイ、斯ウ云フ意味ニ於テ如何ナル場合ヲ指スノデゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ其事實問題アリマシテ、ハツキリト學理的ニ言顯ハヌコトハ、或ハ困難デアラウカト思ヒマス、先ヅ疑ノ餘リナカラウト思フ場合ヲ申上ゲマスルト、私ガ一ノ營業ノタメニ店ヲ持ツテ居ル、其處カラ自分ハ退散致シマシテ、サウシテ其自分が退散シタ、メニ從來自分ノ店へ來居タ者ガ、譲受人ノ方へ參ルヤウニ、詰リスルト云フコトガ、營業ノ譲渡ト云フコトニナラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 今度ハ二十四條ニ付イテ御尋ヲシタイ、商號ノ登記ヲ致シタル者ガ營業ヲ廢止シ、或ハ又是ヲ變更シタ場合ニハ、ドウ云フ都合ニナルノデス

○政府委員(梅謙次郎君) 商號ノ登記ト云フモノハ、要スルニ同一ノ營業ニ付イテシナイト云フコトガ、十九條カラ出テ參リマス、故ニ營業ヲ廢止ジマスルト云フト、其營業ニ付イテノ商號ト云フモノハ、當然廢止シタト云フコトニ相成リマス、營業ヲマルデ止メマシテ、營業ヲ變ジマシテモ、其商號ハ消滅スルコトニナリマス

○(花井卓藏君) ソレカラ矢張二十四條ノ文字デゴザイマス、抹消ト云ブコトガ書イテアルガ、是ハ普通ノ法律ニ書イテアル取消ノ意味デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 登記ノ抹消ト云フ文字ハ、既ニ不動產登記法ナドニモ使ウテアリマシテ、若シ文字ノ通リニ解シマスト、眞黒ニスルコトノヤ

ウニ見エマスケレドモ、サウデナイ、無形ニ消スノデ、抹消スルト云フコトヲ矢張登記スルノデス、ソレハ不動產登記法ナドニモ、登記ノ抹消ト云フ言葉ガ使ウテゴザイマスカラ、是モ同ジ言葉ヲ使ウタニ過ギマセヌ

○(後藤文一郎君) 商號ノコトニ付イテ御尋ヲシマスルガ、是迄モ矢張リ商號ヲ持ッテ居リマスルモノハ、總テ又更ニ登記シナケレバ、効ガ無イデゴザイマスカ、登記セヌデモ宜イカ、其御考ヲ承ハリタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 従來ノ分ニ付きマシテハ、施行法中ニ規定ヲ設ケマスル積デ、即チ多分提出ニナツテ居ル積リ、貴族院ノ方ヘ提出ニナツテ居リマスカラ、其案ニ依リマスト、第十二條第十三條ニ其規定ガアリマシテ、ソレデ其第十九條ノ規定ハ舊商法施行前ヨリ施行スル商號ニハ之ヲ適用セヌ、ケレドモ、舊商法施行前カラ使用シテ居ル商號ハ、十九條ヲ適用致シマセヌニ依ッテ、詰リ是ニ依ッテ從來ノ權利ヲ奪ハル、コトハナイ

○(後藤文一郎君) 同一ノ町村デモ舊來用井テ居ル商號ハ、矢張登記ヲ許シマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 許シマス、シナクテモ効ガアル

○(花井卓藏君) 第二十七條ノ規定ノ中ニ年二回以上利益ノ配當ヲナス會社云々、斯ウ書イテアル、利息ガゴザイマセヌガ、差支ハナイ御考デゴザイマ

スカ、私ハ實際差支ルデアラウト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 利息ノ配當ト云フコトヲ或特別ノ場合ニ認メテアリマス、併ナガラソレニ付イテハ利益ノ配當ノ如キ、法律上チヤント時期ガ定マツテ居ルノデアリマセヌ、事實上利益ノ配當ヲナストキニ利息ノ配當ヲ當然スベキモノデアルト云フコトハアリマセヌカラ、其時期ガ極ッテ居ルトハ言ヒ難イ、ソレデ單ニ此字ガ使ツテアリマス

○(花井卓藏君) サウスルト例ヘバ百五十八條カニ幾ラモゴザイマスルガ、チヨット私ガ讀ンダ所デハ、前略利益又ハ利息ノ配當ヲ決議スルト云フ文字ヲ使ツテ、格別ノ規定アル場合ダケハ、利息モ包含サレルノデアルガ、一般商法ノ原則トシテ、矢張利息ト云フモノハ、法律ノ目ニハ映ゼヌト云フ御趣意デゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) サウ云フ譯デハナイ、法律デ認メル場合ニハ、利息ヲ配當シテモ宜イト云フコトデアリマスカラ、從ツテ百五十八條ノ規定ガ要リマス、是ハ利益ノ配當ヲセズシテ、利息ヲ配當スル場合ヲ定規總會ニ掛ケネバナラヌト云フコトヲ規定シタノデアル、會社ノ性質トシテ年ニ二回以上利息ノ配當ヲ爲スベキ會社デアルト云フコトハ、實ニ言ヘヌノデ、利益ヲ配當スベキ會社ダカ、其會社ニ於テ未ダ利益ノ配當ヲ爲スニ足ラナイ場合ニ於テ、特ニ或場合ニ於テ、利息ノ配當ヲ爲スコトヲ認メテ居ル、年二回以上利益ノ配當ヲ爲スベキ會社ト云フノハ、アルベキモノト定ツテ居ル會社ト云フノデアル、會社ノ成立間始終利息ヲ配當スルモノハナイ、僅カニ二年ツコラノ時期ヨリ外超エルコトハナイ

○(岡野敬次郎君) チヨクト補ツテ置キタイノデゴザイマスガ、花井君ノ言ハレタ百五十條デスナ、外ニ餘リ利息ト云フ文字ハナイ、株式會社ノ部ニハアル、第百五十八條ニ在ル所ノ利息ト云フノハ、第百九十六條ニ定期スルモノニ牽聯シテ、例ヘバ百九十條ノ準備金及ビ利益又ハ利息ノ配當ニ定期スル議案、此利息ト云フノハ、總テ百九十九條カラ割出シタ利息ナンデ、ソコデ普通ノ場合付イテ云フト、利息ト云フハ何デアルカト云フト、法律上ハ矢張リ利益デアル、利息ヲ配當スル場合デモ、株式會社デモ、其他ノ會社デモ、取引損失ニ依ッテ減ジタル所ノ資本ヲ填補シタ後デナケレバ、總テ配當ハ出来ヌ、其配當ハ利益ト云フ名義ヲ附ケテモ、或ハ利息ト云フ名儀ヲ付ケテモ、或ハ配當金ト云フ名義ヲ附ケテモ、法律上ハ總テ利益デアル、ソコデ其年二回以上利益ノ配當ヲ爲ス會社ト云フノハ、先刻梅君ノ言ハレタ通りニ過ギナ

○(花井卓藏君) 三十條ニ付イテ御尋ヲシタイノデアリマスガ、三十條ノ此第一項ノ規定デス、是ハ隨分權限が頗ル空漠デ、將來起ル争ハ大抵此三十條カラ起ルダラウト私ハ考ヘテ居リマスルガ、爰ニ「營業ニ關スル一切ノ裁判上」ハ分リマス、ソレカラ其下ノ「又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス」斯

○云フ文字ヲ文字ノ儘ニ解釋スルト云アト、殆ド支配人ト云フモノハ、營業ニ伴フ權利關係ニ付イテハ全能ノ權限ヲ持テ居ルガ如クニ見ラレル、ソレハ其趣意モサウデアルカト思ヒマスガ、茲ニ大ナル事柄デ、且ツ屢々アル例ト云フモノガアル、則チ他人ノ意思表示ヲ受ケルト云フコトガ、屢々アル、支配人ハ主人ニ代リマシテ、他人ノ意思表示ニデモ受クル權限モ、此裁判外ノ行爲ヲ爲スト云フ權限ヲ有スト云フ字ニ含マレテ居ルカドウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、或一定ノ仕事ニ於テハ營業ニ附イテノ仕事ニ附イテハ、屬支支配人ハ主人、主人ハ支配人ト云フコトモナリ得ベキ趣意ノヤウデアリマスガ、サウ云フ趣意デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御解釋ノ通り營業ニ關スル以上ハ、總テノ行爲ガ出來ル、裁判外ト云フコトヲ殊ニ爰ニ入レタノハ、前ノ裁判上ト云フ文字ヲ必要デアルガタメニ、唯營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲スト云フト足リルノデスカラ、ソレテ裁判外ト云フ文字ヲ以テ補シタノデ、而シテ權限ニ於テハ營業ニ關スル以上ハ、御說ノ通り支配人ハ主人ヲ全然代表シテ居ルモノデアル、第三條ノ例ヘバ三項ノ規定ノ此制限ハ、善意ノ第三者ニ對抗ガ出來ヌガ、併ナガラ主人ガ支配人ノ權限ヲ制限スルコトハ、勝手ニ出來ル、其制限ハ主人ト支配人ノ間ニ在テハ、法律上無論効力ガアル、又第三者ガ制限ノアルト云フコトヲ知シタ以上ハ、對抗ハ出來ナイ、唯營業上ノ安全、取引ノ安心ヲ得ルガタメニ、第三者ノ方カラハ、果シテ支配人ノ權限ガ制限ガアルヤ否ヤト云フコトヲ何時モ探索スルヤウデハ、安心シテ取引ガ出來ヌト云フ恐レガアルカラ、ソレニ營業ニ關スル事柄ニ付イテハ、一切ノ權限ヲ有スト云

○(花井卓藏君) 矢張同條デアリマスガ、第二項ニアル支配人ガ番頭手代其他ノ使用人ヲ選任シ、又ハ解任ヲスルト云フノニハ、民法ノ百四條ノ規定ニ從ハヌデモ宜イノデアリマスカ、若シ從フヲ要セザルモノトセバ——從フコトヲ要セザルト云フコトハ、語弊ガアリマスカラ、取消シマシテ、並ニ選任解任ノ方法ト云フハ、商法デヤ規定ノ法文ガナイヤウデアリマスガ、ドウ云

○(花井卓藏君) 其方法ノコトニ付イテ尋ネルノデアリマスガ、規定ガナイカラシテ、如何ナル方法ヲ以テスルモ可ナリ、成程、ソレデ結構デゴザイマセウガ、第三者ハ如何ニシテソレヲ諒知シ得ベキ譯ニナルノデスナ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ其支配人ノ選ビマシタトキニ付イテ、特別ニ起ル問題デヤナカラウト思ヒマスガ、主人ガ選ビマシタトキデモ、同様デレハ其趣意モサウデアルカト思ヒマスガ、茲ニ大ナル事柄デ、且ツ屢々アル例ト云フモノガアル、則チ他人ノ意思表示ヲ受ケルト云フコトガ、屢々アル、支配人ハ主人ニ代リマシテ、他人ノ意思表示ニデモ受クル權限モ、此裁判外ノ行爲ヲ爲スト云フ權限ヲ有スト云フ字ニ含マレテ居ルカドウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、或一定ノ仕事ニ於テハ營業ニ附イテノ仕事ニ附イテハ、屬支支配人ハ主人、主人ハ支配人ト云フコトモナリ得ベキ趣意ノヤウデアリマスガ、サウ云フ趣意デアリマスカ

○政府委員(田部芳君) 唯今此二十八條ノ規定ノ制裁ニ付イテノ御尋デアリマスガ、之ニ付イテハ別段ニ特別ノ制裁ト云フコトハナイノデケレドモ、若シ破産ナドヲ致シマシタ場合ニ、其場合ニハ要求ヲ受クルコトガ、破産ノ方カラ出テ來ルコトガアル

○(後藤文一郎君) 矢張此帳簿デナクシテ、信書デモ破産ノ場合ニ起リマスカ

○政府委員(田部芳君) ツレハサウナリマス

○(後藤文一郎君) 第八條ニ「其他小商人ニハ」トアリマスガ、此小商人ハタル小商人ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトガアリマシテ、是ハ十分ノ調査ヲ遂ゲタ上デナケレバ、容易ク定メラレマセヌシ、又事實ニ當リマシテ調ベマセヌト分リマセヌカラ、又時勢ノ變遷等ニ依ツテ自カラ其範圍ヲ異ニスル必要ガアルト思ヒマスカラ、之ヲ説明ニ譲リマシタ

○委員長(大岡育造君) ドナタカ、質問ハ今ノ所ニアリマセヌカ、然ラバ次ギニ進シテ、花井君

○(花井卓藏君) 第四十二條ニ付イテ質問ヲ致シマス、會社ハ其目的ヲ變更シテ商行為以外ノ事柄ヲ業トスルコトガ出來マスガ、別段制限ガナニ以上ハ出來ルヤウニ思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ、若シ出來ベキモノト致シマスレバ、之ガタメニ會社タルコトヲ失フ趣意ニナリマスカ、ドウデスカ含マレテアルカラ、是ハ明カニ其方カラレタノデ、民法ノ百四條カラ云ヘバ、諸リ全然例外ノ規定デアルト云ウテ差支ナイ

○政府委員(梅謙次郎君) 方法ハ別ニ定メテアリマセヌカラ、如何ナル方法ヲ以テシテモ可ナリ

○(花井卓藏君) 其方法ノコトニ付イテ尋ネルノデアリマスガ、規定ガナイカラシテ、如何ナル方法ヲ以テスルモ可ナリ、成程、ソレデ結構デゴザイマセウガ、第三者ハ如何ニシテソレヲ諒知シ得ベキ譯ニナルノデスナ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此三十條第二項ト云フモノハ、民法百四條カラ云フト、例外ニナルノデ、ソレデ或ハ營業ニ關スル行爲ト云フ中ニ番頭手代ノ選任解任ナドハ、含ンデアラウト云フ位ノ考スラ、既ニ持ツテ居シタノデ、民法ノ百四條カラ云ヘバ、諸リ全然例外ノ規定デアルト云ウテ差支ナイ

○政府委員(梅謙次郎君) 方法ハ別ニ定メテアリマセヌカラ、如何ナル方法ヲ以テシテモ可ナリ

○(花井卓藏君) 其方法ノコトニ付イテ尋ネルノデアリマスガ、規定ガナイカラシテ、如何ナル方法ヲ以テスルモ可ナリ、成程、ソレデ結構デゴザイマセウガ、第三者ハ如何ニシテソレヲ諒知シ得ベキ譯ニナルノデスナ

○(花井卓藏君) 四十七條ニ付イテチヨウト伺ヒマス、四十七條ノ法文ハ能ク書イテアルノデゴザイマスガ、私ニハ分ラヌ點ガアリマスガ、會社ガ一旦

開業ヲ致シマシタル後、六ヶ月以上業務ヲ停止シタ場合ニ於テハ、ドウ云フ具合ニナリマスカ、又其場合ニ解散ヲ命ジナイト云フハ、ドウ云フ次第デゴザイマスカ

○政府委員（岡野敬次郎君）此第四十七條ノコトハ、類似ノ規定ハ現行法ニアリマス、何ゼ開業ノ時ニ限^ツテ、此制裁ヲ加ヘテ一時休業ノ場合ニ制裁ヲ加ヘナイカト云ヘバ、會社ト云フ名義ヲ以テ商賣ヲ始メルモノハ、一番世人

ヲ驕ガストカ、或ハ其社員ニ損害ヲ與フルコトガアリ得ルコトハ、一旦會社
ガ設立シテ業務ヲ始メタシマツタ後ト云フモノハ、サマデナクシテ會社ヲ設立
スル始メニ當ッテ、最モ弊害ガアルノデアル、又此一時營業ヲ停止スルト云
フヤウナ場合デアルト云フト、社員ノ間ニアツテモ第三者ニ對スル關係ノ上
カラモ、或ハ此解散ヲ自身ノ方カラ請求スルトカ、或ハ其他會社法ニ定メテ
アル所ノノ制裁ガアリマスカラ、最モ弊害ノ多ウサウナ、損害ノ與ヘ易キ時代
ニ何ントカ制裁ヲ設ケテ置カナケレバナラヌト云フコトカラ、此規定ヲ設ケ
マシタノデゴザイマス

○(花井卓藏君) チヨシトスガ、第四十五條ニ付イテ御尋致シマス
「會社ノ設立ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ云々トゴザイマ
スガ、是ハ設立ノ下ニ「變更及ヒ解散」ト云フ六字ガ必要ノモノト思ハレマ
スガ、是ハ御差支ハナイ趣意デゴザイマスカ、十二條十三條十四條等ニ多少
關係ヲ有ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、御參照ノ上御答辯ヲ願ヒタイ
○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ此案ヲ調査スル際ニ十分攻究致シマシタ問
題デ、現行法ニ於テハ或場合ニハ變更登記ノ後ニアラザレバ、第三者ニ對抗
セラレナイコトニナツテ居ル箇條セゴザイマス、種々評議ノ末變更等ノ登記
ト云フコトハ、四十五條ノ規定ノ中ニ入ル必要ハナイト云フコトヲ認メタ、
唯今御引用ニ相成ツタ第十二條第十三條ノ規定ハ、勿論當候リマスルシ、又若
シ其登記ヲ怠リマスルト、科料ノ制裁ガアリマスカラ、ソレダケデ十分デア

○政府委員(岡野敬次郎君) 御尋子ノ點ハ、四十五條ニ付イテ變更ヤ解散ノ登記ノコトハ、登記スルカドウカ、ソレニ關スル規定ハアルカナイカト云フ御質問デアツタト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ……ソレナラバ第五十一條以下ニ合名會社ノ其變更ノ登記ガアリ、解散ノ登記ハ解散ノ所ニアリマス、登記ハ矢張リ致シマス

○(花井卓藏君) モウ一ツ上ニ一條溯リマズ、第四十四條ニ「會社ハ之ヲ法
人トス」トアリマス、是ハ第二項へ往クテ「民法第四十三條及ヒ第四十四條
ノ規定ハ會社ニ之ヲ準用ス」ト云フ文字ヲ入レナケレバ行クマイト思ヒマズ、
若シ御説明ニシテ感服致シマスレバ、修正案ヲ提出致サヌ積リデゴザイマス
カラ、親切ナル御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 此四十三條ノ規定ハ是ハ「法人トス」ト云フコト
ヲ申セバ、ソレヲ當然分ル積リデ、別段商法中ニハ此ノ如キ規定ハ設ケナカッ

タノデアリマス、四十四條ノ規定ハ明文ガナケレバ、此ノ如キ結果ニナリマセヌカラ、例ヘバ六十二條ノ二項ニ於テ「民法第四十四條第一項及ヒ第五十四條ノ規定ハ合名會社ニ之ヲ準用ス」合資會社ニハ合名會社ノ規定ガ準用セラレマスカラ、別段明文ヲ要シマセヌ、六十二條ノ其規定ハ第百七十條「第六十二條ノ規定ハ取締役ニ之ヲ準用ス」株式合資會社ニ付イテハ、個人ハ株式會社ノ規定ニ準用シテアリマス

○(花井卓藏君) ソレデ尙本質問シタイデスガ、會社ハ法人デアル、法人ト云フモノハ御説明ノ如ク即チ民法ノ四十四條ノ規定ノ如キモノヲ準用シナケレバ、到底勵キガ出來ナイ、所ガ梅政府委員ガ言ハレタ合名會社株式會社ト云フ如キ、總テ四十四條ト云フモノハ、規定ガ準用シテアルカラ、法典ノ体裁ノ上カラ論ジテモ、立法ノ順序カラ考ヘマシテモ、會社總則ノ中ニ私ガ讀上ゲタモノヲ準用シテ、其他ハ入ラヌ方ガ、却テ格好ガ宜イト云フ考案デアリマス、總テ梅君ハサウ云フ點ニハ、最モ注意周到ニ出來テ居マスカラ、感

○政府委員（梅謙次郎君） 体裁ノコトハ、隨分吾々ガ編纂ヲ致シマスルトキニ、總則ニ置イタモノヲ後ニ各條ニ分チマシタリ、各條ノモノヲ總則ニ入レタリ、色々致シマシタノデ、吾々ノ間デモ始メ色々意見ガ合ハナイ位デアリマシタカラ、他ノ御方ガ御覽ニナレバ、是ヨリモツト宜イ御考案ガ出マスルノハ、御尤デゴザイマスルガ、此民法ノ四十四條ノ規定、ソレカラ序ニ私ノ方カラ進ンデ申シマスルト、五十四條ノ規定ト云フモノハ、免ニ角會社ノ代表者ニ關スル特別ノ規定デアルカラ、是ハ會社ノ代表者ノ規定トシタ方ガ、唯形ガ宜カラウ、ソレトモニ餘リ屢々出マスコトナレバ、總則デモ宜イガ、唯二ヶ條デアルカラ、株式會社ハ直接ニ民法ヲ引用スル上ニ他ノ規定ト共ニ商法ノ六十二條ヲ準用シテ濟ムカラ、畢竟民法ヘ頭ヲ出スノハ、六十二條ノ第二項ダケデ濟ムノデ、斯ノ如キコトハ廣ク會社總則ノ――又如何ナル者ヲ會社ノ代表者トスルカ分ラヌヤウナ所ニ書クヨリ、中ヘ書イタ方ガ分リ宜イト云フノデ、即チ斯ノ如キ規定ヲ中ヘ出シマシタ、此四十四條五十四條杯ト云フ規定ハ、皆法人ノコトニ關シテ居マス、ソレデ其方ガ宜カラウト思ヒマシテ、然ラバ何故民法ノ總則ニ入レスカト云フニ、民法ハ法人ノ原則トシテ、四十三條ノ如キ規定ヲ入レテ、民法ノ法人ハ非常ニ範圍ガ廣イカラ、斯ノ如キ規定ハ置カヌト云フノデ、尤モ嚴密ノ理論カラ云ヘバ、分ケテモ濟ムガ、四十四條ノ規定ハ牽聯シテ居マスカラ、ソレデ四十四條四十二條ノ次ニ入レマシタ、先ヅ民法ノ法人ノ總則ト云フモノハ、即チ法人ノ設立ヲ名稱トシテ居ル位商法ノ會社篇ノ總則ヨリ範圍ガ廣イカラ、自然斯ノ如キモノマデ、包含スルニ至ツタノデス

○政府委員(梅謙次郎君) 是モ各自ノ見込デ、其方ガ宜イト云フ御論ガ出マスノモ御尤デゴザイマスガ、政府案ニ之ヲ二項ニ入レマシタノハ、會社ト云フモノハ、人デナイ人デナイナレバ、住所ヲ持タスト云フノガ、民法ノ本則デ、法人ハ住所ヲ持ツト云フコトニ民法ハナツテ居マス、是ハ法人タルノ結果デゴザイマシテ、短イ文字デアルカラ、茲ニアツタ方ガ宜カラウト云フマデデ、外ニ深イ意味ハナイ

○(花井卓藏君) 第四十八條ニ付イテ質問ヲ致シマス、會社ハ勿論法人デアッテ人デナイト云フコトハ、御説明マデモナク能ク存ジテ居マス、尙ホ唯今ノ御話デ一層能ク明確ニナリマシタガ「會社カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲云々」トアルガ、會社ガ斯ウ云フ行爲ヲ出來ベキヤ甚ダ疑ガアル、ソコデ是ハ唯會社ト云フノデハナクシテ、會社ノ代表者ト云フ意味ト考ヘル、又會社ノ業務ニ付イテト云フ意味ト思ヒマス、即チ會社ノ代表者會社ノ業務ニ付イテ、公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルトキト見ルノガ當然ト思フ、此事ハ法文ニ明白ニシテ置キマセヌト、會社ノ代表者ニシテ、若シ公ノ秩序ニ反スル行爲又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲシタ折ニ、代表者ガソレハ已ニ責ハナシ、會社ト規定シテアルト云シテ、隨分變ナ結果ニナル、併ナガラ會社ガ斯ノ如キコトヲスル場合ガナイカラ、代表者ガ公ノ秩序ニ反スルコトヲスレバ、詰リ會社ニ屬スルモノデモ、裁判官ガ奈何トモスルコトガ出來ナイ、會社ハ讀ンデ字ノ如ク、會社ト解サナケレバナラヌカラ、然ルニ代表者ト云フ文字モナク、會社ノ業務ニ付イテト云フコトモ殊更ニナインハ、ドウ云フ旨意ナノカ、其邊ヲ承ハリタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 誠ニ御尤ナ質問デゴザイマシテ、其事ハ吾々モ無論ニ氣ノ附イタコトデアリマス、若シ花井君ノ仰シヤル通リ單ニ會社ノ代表者ガ會社ノ業務ニ付イテト云フ風ニ書ケルナラバ、免モ角、決シテサウ云フ不正確ナ言葉ハ書ケマセヌ、取締役ノスル仕事モ其中ニ這入り、株主總會ノ議決モ此中ニ這入ル、詰リ會社ト云フモノハ、機關ヲ備ヘテ、其機關ハ一ツデハナイ、ドノ機関ガ動ク場合デモ、ソレハ詰リ今仰シヤル通リデ會社ノ業務ノ範圍内ニ於テ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲トナル場合ニ於テ、例ヘバ決議ノ後公ノ秩序ヲ害シ、又ハ善良ノ風俗ニ反スルトキ、其取締役ト云フ事實ヲ知シテ始メテ解散ヲ命ズルノハ、手緩ルイ、サウ云フヤウナ場合ニハ、速ニ解散ヲ命ズル、會社トスレバ得テ會社ニ間違ハ起ルマイ、丁度民法七十一條ト同ジ様ナ意味ヲ持ツテ居マス、極ク精確ニ云フト取締役若クハ株主總會トナルカモ知リマセヌガ、株主總會ガ行爲ヲナスト云フノハ、言葉トシテモ面白クナイ、是デ實際分ルダラウト存ジタノデス

○(花井卓藏君) 此點ハ無論修正ヲ要スベキモノト信ジマスカラ、次ニ御讓リヲ願ヒマシテ、更ニ進ンデ五十一条ニ付イテ御尋ヲ致シマス、五十一條ノ第一項ノ第三「設立ノ年月日」是ハ定款ノ出來タトキノ年月日デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 其通デス

○(花井卓藏君) ソレカラ尙ホ同條ニ付テ御尋申シタインハ、此五十一條ノ七項中「前項ニ定メル登記ヲ爲シ」云々トアル、是ハドウ云フノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 此五十一條ト云フモノハ、定款ニ定メタル事項ノ中デ登記スペキ事項ダケヲ掲ゲタモノデアル、ソレデ登記スペキ事項ハ、ドレダケノ範圍ト云フコトハ、是丈ニシナケレバナラヌト云フ標準ガナイト、現行法ニ於テ合名會社ノ資本ヲ登記サセヌト云フコトガアツテ、今更外ニ例ノナイコトハナイケレドモ、資本ノ如キハ尤モ大切デアルカラ、是ハ登記ヲサセル方ガ宜カラウト云フノデ、今度ノ案ニハ登記ヲサセルコトニナシテ居マスガ、詰リ是非ナケレバナラヌコトハ、登記ヲサセテ、苟モ定款ニ於テ其會社ノ原因ガ定メテアレバ、無論其原因ニ依テ退社ヲナスト云フコトハ先キノ規定デ明白ニナツテ居ルカラ、登記マデサスル必要ハナイト認メタノデアリマス

○(花井卓藏君) 五十四條ニ附イテ質問致シマス、定款ノ定メト商法ノ規定ト抵觸シタ場合ニハ、何レニ從フノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 若シ真ニ抵觸シテ居リマスレバ、抵觸シテ居ル範圍ニ於テ、少クトモ定款ハ無效ニアリマス、ソレデ此抵觸シテ居リマス場合ニハ、商法ノ規定ハ悉ク命令規定デアルカラ、其中デモ反對ノ意思ヲ有スルモノ、即チ定款ニ反對ノ意思ガ掲ゲテアリマスレバ、定款ニ從フノデ、疑ハシイモノハ一々規定ガアリマスガ、中ニハ明文ガナクテモ、疑ノナイコトモアラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 五十二條ニ附イテ御尋申シマスガ、是モ矢張修正ヲ要スベキモノデナイカト思ヒマスガ、五十二條第一項ヘ但書ヲ入レルト宜カラウト思ヒマスガ、其但書ヲ讀ミマスト「但他ノ營業者ノ所在地ヲ管轄スル所ノ管轄區域内ニ移轉シタル時ハ移轉ノ登記ヲナスヲ得」ト云フコトヲ入レナクテモ、五十二條ノ運用ハ付ク御考デアリマスカラ、大體ハサウ云フコトニナラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) 五十二條ニ附イテ御尋申シマスガ、是モ矢張修正ヲ要スベキモノデナイカト思ヒマスガ、五十二條第一項ヘ但書ヲ入レルト宜カラウト思ヒマスガ、其但書ヲ讀ミマスト「但他ノ營業者ノ所在地ヲ管轄スル所ノ管轄區域内ニ移轉シタル時ハ移轉ノ登記ヲナスヲ得」ト云フコトヲ入レナクテモ、五十二條ノ運用ハ付ク御考デアリマスカラ

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今ノハ斯ウ云フ意味デアラウカト思ヒマスガ、間違シテ居リマスレバ、左様御話ヲ願ヒマスガ、茲ニ一つノ會社ガ、甲ノ地ニ本店ヲ持ツテ居シテ、乙ノ地ニ支店ヲ持ツテ居ル所デ、其乙ノ土地ノ支店ヲ甲ノ土地ヘ移シ、又ハ始メハ乙ト丙ト二箇所ニ支店ヲ持ツテ居タノヲ、

乙ノ土地——土地ト云フノハ登記所ノ管轄デ、乙ノ土地へ移ス場合ニハ、移
轉ノ登記ヲナスヲ得ルト云フ必要ハナカト云フコトノヤウニ思ヒマスガ、
ソレハサウ云フ場合モ、或ハ生ジテ來ルカモ知レマセヌガ、先ヅソレハ異例
ノ場合デアリマスカラ、其場合ハ全部登記サレテモ差支ハナカラウト思ヒマ
スカ

○(花井卓藏君) 若シアリトスレバ、是ダケハ缺點デアルト御認メニナリマ
定スル必要ハアリマセヌ

○(花井卓藏君) 第五十八條ニ付イテ御尋申シマス、是モ私ノ意見ヲ先キニ
述ベテ置ク方ガ宜シイノデ、私ハ定款ノ變更ト云フ文字ノ下ニアル「其他會
社ノ目的ノ範圍内ニ在ラサル行爲」ト云フノハ、削リタイ意見デアル、從ッ
テ其點ニ附イテ質問ヲ致シタインデアリマスガ、私ノ考デハ苟モ會社ヲ以テ
法人ト見ル以上ハ、其會社ノ行爲其會社ノ能力ハ、法人ノ目的ノ範圍内ニ限
ランケレバナラヌト思フ、又法人ノ行爲能力ガ目的ノ範圍内ニ限ラル、コト
ガ、法理ノ定則デアラウト考ヘテ居ル、現ニ民法四十三條ノ規定モ、私ノ意
見ヲ採用シテ居ルト考ヘラレル、然ルニ獨リ此會社ニ附イテ、斯ノ如ク目的
ノ範圍内ニアラザル行爲マデモ認メル事柄ハ、實ハ異常ナル例外デアラウ
思ヒマス、斯ノ如キ事柄ハ御認メニナルト云フト、弊ノ生ズルコトガ非常ニ
アラウト思ヒマス、故ニ之ヲ存セラレタル理由、又存セザルベカラザル理由
ヲ承リタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 花井君ノ御論ハ、御尤ノ點モアリマスガ、此規定
ヲ設ケマシタル理由ハ、元來合名會社ノ如キモノハ、謂ハミ親族的ノ性質ノ
モノデ、株式ノ如キ究窟ナルコトヲ規定セヌデモ宜イト云フコトガ、定理デ
アラウト思ヒマス、立法ノ精神ハ左様ニナツテ居リマス、ソレデ合名會社ノ
財產ハ、天然ノ性質カラ言ヘバ、共有デアラヌテ、ソレヲ唯法律ガ法人ノ財產
ト認メテ居ルニ過ギマセヌモノデアラウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、
或ル場合ニ於テ、總社員ガ必要トシテ認メテ居ル事柄デアレバ、ソレヲモ法
律デ束縛スルコトハ、要ルマイト思ヒマス、サウシテ五十八條ノ適用ヲ受ケ
マス場合ハ、例ヲ舉グマスレバ幾ラモアリマスガ、例ヘバ或ル運送ヲ目的ト
シテ居ル會社ニ於テ、甲ト乙トノ土地ノ間ノ運送ヲ目的トスルト云フコトガ、
定款ニ書イテアル、營業上ノ利益カラ、一時ソレヲ丙ノ土地ニ持ツテ行^シテ
營業ヲスルト、儲カルコトガアル、永ク續イテソコニ居ルナラバ、定款ヲ變
更シテモ宜イガ、其時限リヤラウデハナイカト云フコトガ、總社員ノ協議モ
纏シタト云フトキハ、定款ヲ變更シテ然ル後ニシナケレバナラヌト云フヤウ
ナコトニシナクトモ宜カラウ、又他ニ一ツノ例ヲ申シマスト、此會社カラ他
へ贈與ヲスルト云フコトガアル、會社ガ贈與ヲ爲スコトガアル場合ニ、ソレ
ハ會社ノ目的ノ範圍ニハ這入ラヌノデアル、併ナガラ其會社ガ直接ナリ間接

ナリニ恩ヲ受ケタ者、又ハ恩ヲ受ケタル團体等ニ贈與ヲナスト云フコトハ、
穩當デナイト云フ考モアリマスカラ、贈與ヲシャウト云フコトガアツタナラ
バ、ソレハ勿論定款ノ變更デハアリマセヌガ、會社ノ目的ノ範圍内ニ限ルモ
ノデアツテ、此明文ガナイト會社ノ行爲トシテハ、出來ナイト思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 花井君ノ御論ハ、御尤デハアリマスガ、元ト
タ例ニ附イテ考ヘルト、甲乙間ノ土地ニ在ラテ、運送ヲナスト云フ目的ヲ以
テ會社ヲ起シタ所ガ、業務ヲ擴張スルタメニ、丙ノ土地マデ線路ヲ延長スル
トカ、或ハ其車ヲ持ツテ運送スル目的デ、會社ヲ立ツタケレドモ、併ナガラ
其線路ヲ踏ンデ、馬車デ運送ヲスルト云フコトニナリマスレバ、當初ニ於テ
定メタル目的以外ノ行爲ヲ爲スニ相違ナイカラ、其場合ニ純理カラ言ヘバ、
先ヅ以テ會社ヲ解散ヲシテ、然ル後目的ノ變ツタ會社ヲ設立シナケレバナラヌ
ト云フコトニナル、ソレデハ今ノ商事會社ニ取ッテハ、特ニ不便デアラウ、
鐵道會社ガ線路ヲ延長スルトカ云フコトハ、隨分アルコトデアル、其場合ニ
此ノ法理上ノ理窟ノミカラ論ズルト云フト、之ヲ嚴禁シナケレバナラヌト云
フ結果ニナル、ソレデアルカラシテ定款變更ト目的ノ變更トヲ無論認メタノ
デ、況ヤ一時會社ノ目的ノ範圍内ニ這入ラナイ行爲ヲナスニハ、總社員ノ
同意ガナルナラバ、法律デ之ヲ禁ズル必要ハアルマイト云フコトカラ、斯ウ
致シタノデアリマス

○(望月長夫君) 今ノ事ニ附イテ御尋ヲ致シマスガ、サウシマスルト云フト

目的ノ變更、即チ定款ノ變更ヲ爲シテ登記ヲ要スル場合ト、ソレカラ目的ノ
範圍内ニアラザル行爲ヲ、總社員ノ同意デ目的以外ノコトヲナス場合ト、ド
ウシテ其區別ヲ立テマスカ、一時ト云フコトヲ何所マデノコトデスカ
○政府委員(梅謙次郎君) 定款ヲ變更シテ然ル後目的以外ノ事ヲスルト云
ノガ、普通ノ順序デアルト云フコトハ、先刻岡野政府委員カラ申シタ通、理
論上カラハ目的ヲ變更スルコトハ、前ノ會社ガ解散サレテ、新タニ會社ガ成
立シナケレバナラヌガ、ソレハ便法デ、株式會社等ニ附イテモ認メテ居ル、決
議ノ方法杯面倒デアルト云フノデ……定款ヲ變更シテ然ル後ニ、前ノ目的ト
達フタ目的ノコトヲスルハ、勿論認メテ居ル所ガ、一時限リノコトナラバ定款
變更ノ必要ハナイノデ、定款ヲ登記シテ直グソレヲヤツテ濟ムナラバ、定款
ト云フモノハ、會社ノ成立シテ居ル間存シテ置クベキモノデアルカラ、ソレ
ハ必要ハナイ、併ナガラ長ク其事が續クトカ、又毎度サウ云フ事ヲシャウト
云フ場合ニハ、定款ヲ變更シテ置カヌト、實際外ニ對シテ信用ガナイト云フ
場合ガ多イカラ、敢テ法律デハサウ云フ場合ニハ、定款ヲ變更シロ、ドウ云
フ場合ニハ定款ハ變更セズシテ、一時デ宜イト云フコトヲ極メル必要ハナ
イ、要スルニサウ云フコトハ、總社員ノ同意デ出來ルコトニナル

○(望月長夫君) 私ノ疑ハ、若シサウスレバ、目的ノ範圍内ニアラザル爲メ
ニト云フ淡泊ナル文字デ示シテアルガ、此目的ノ變更、即チ定款ヲ變更シタ
コトハ、登記シナケレバナラヌノデ、登記ハ金ノ入ル仕事デ、面倒ナモノデ
アルガ、目的ノ變更、即チ定款ノ變更トナッタ場合ハ、登記ヲシナケレバナラヌ
ト云フコトニナッテ居ル、ソノ法律ノ規定ヲ無駄ニスルコトニナリハシナイ
カ、何時デモ總社員ノ同意ガアレバ、目的ノ變更ガ出來テ、登記ニ關スル規
定ハ、無用ノコトニナリハセヌカ……

○政府委員(梅謙次郎君) 一時限リデナク、長ク目的ヲ變更シタモノト認メ
ラル、トキニ、法律ヲ潛ダルタメニ、定款ヲ變更セズ、又登記モシナイト云
フ事實ガアツタナラバ、法律ノ制裁ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナ
ル

○(望月長夫君) 其場合ノ制裁ハ……

○政府委員(梅謙次郎君) 定款ノ變更ニナリ、目的ノ變更ニナレバ、登記ヲ
シナケレバナラヌ規定ガアル、ソレハ御承知ノ第五十三條ニ明文ガアツテ、
此規定ニ依ラヌト云フト、過料ノ制裁モアリ、又間接ニハ登記ニ關スル制裁
モアルノデアリマス

○(望月長夫君) ソコガ私ニ區別ガ分ラヌ、此所デ會社ノ目的ノ範圍内ニア
ラザル行爲ヲナスト云フコトハ、目的以外ノ行爲デ、斯ウ云フコトシカシナ
イト云フ其以外ノコトヲナスコトヲ、法律ガ五十八條デ許シテアル、其許シ
テアルヤツニ向ラテ、ドウ云フ譯デ制裁ヲ加ヘラレルノデアルカ

○政府委員(梅謙次郎君) 五十八條ハ御覽ノ通、會社ノ内部ノ關係デ決議ヲ
スルコトノミヲ極メタノデ、定款ノ變更モ一緒ニ規定シタノデ、定款變更ハ
唯一時限り目的ノ範圍外ノコトヲスルニハ、是非總社員ノ同意アルコトヲ要
スルト極メタノデ、而シテ會社ノ目的以外ノコトヲスルニハ、定款ヲ變更シ
テ登記シテナスベキヤ否ヤハ、此處デ極マテ居ラヌ、ソレハ五十三條其他ニ
依ツテ極マル

○(花井卓藏君) 尚ホ五十八條ニ附イテ、進シテ御尋致シタイノデアリマス
ガ、合名會社ノ總社員ノ同意ノアリマシタ場合ニハ、目的ノ範圍内ニアラザ
ル行爲ト雖モ、爲スコトガ出來ルト云フコトニナッテ居ルト云フノハ、私ノ
考デハ從來合名會社ト云フモノハ、法人ト云フコトニ見ナカツタタメデアラ
ウト思フ、法人ト見マセヌ以上ニ、勿論目的ノ範圍外ニ涉ラテ居ル行爲ヲナ
シタ所ガ、一向差支ナイ、詰リ契約ノ效力ニ例外ヲ設クルニ過ギナイ、行爲
能力ノ上ニ例外ヲ設クルノデハナイ、ソレ故ニ從來之ヲ許シテ居ツタモノ
ト考ヘル、而シテモウ古イ事デ能ク覺エテ居リマセヌガ、私ノ學ンダ英吉利
法律ニ依ツテモ、日本商法ノ合名會社ハ、矢張普通ノ株式會社合資會社ノ如
ク、法人トハ見テ居ナイ事柄ニ記憶シテ居ル、實際ニ於テモ左様ダラウト確
定ヲ致シマシタ以上ハ、一般法人ニ關スル規定ニ依ルガ當然ト思フ、然ルニ

合名會社ニ限ラテ、斯ク行爲能力ヲ過大ニ擴張スルト云フコトハ、甚ダ宜シク
ナイト思フ、然ルニ特ニ此合名會社ノミニ、斯ル汎博ナル行爲能力ヲ與ヘテ
置キナガラ、株式會社ナドニ向ヒマシテハ、是等ノ點ニ附イテハ、正反對ナ
ル制限ガシテアル、甚ダ或一面ニ於テハ、合名會社ト云フモノヲ法人ト見ザ
リシ時代ノ理論ト云フモノヲ此ニ持テ來タト云フ譏リガアル、モウ一方カ
ラ考ヘマスレバ、其他ノ會社ト行爲能力ノ權衡ヲ得ヌト云フ批難ヲ免レヌト
思フ、兎ニ角日本ノ將來并ニ現時ノ狀態ニ於テ、特ニ合名會社ニ對シテハ、
斯ノ如キ過大ナル行爲能力ヲ與ヘナケレバナラヌ必要ガアルト云フコトヲ、
御調査ニナツタノデアリマセウカ、又是ハ削ツテモ宜シイト云フ御勇氣ガ
アルノデアリマスカ、參考ノタメニ伺ツテ置キマス

○政府委員(梅謙次郎君) 稍々御意見ニ涉ラタヤウナ御質問デアリマスガ、
御意見ハ御意見トシテ、御質問ノ點ダケニ附イテ御答致シマス、舊商法ノ解
釋トシテハ、合名會社ハ純然タル法人デアルヤ否ヤト云フコトニ附イテハ、
多少疑ガアル問題デアリマセウケレドモ、此七十三條ノ規定ト云フモノ
ハ、時ニ法人デアルト云フコトヲ認メタモノト解シタ方ガ、穩當デアルト考
ヘマス、而シテ又假リニ舊商法デハ、之ヲ純然タル法人ト見ナカツタト致シ
マシタ所デ、民法デ法人ト云フ範圍ヲ認メタ主義カラ申シマスルト、七十三
條ノ如キ規定ガアレバ、民法ニ依ル法人デアルト云フコトヲ認メナケレバナ
ラヌト考ヘテ居ルガ、ケレドモ其問題ハ必ズシモ此問題ニ直接ノ關係ヲ及ボ
サヌト思ヒマスケレドモ、實質上ドウデアル、此舊商法ニ從フ所ノ合名會社ト
云フモノ、會社財產等ノ有様ト、ソレカラ今度ノ商法修正案ノ合名會社ニ關
スル財產ノ有様等ガ、ヒドク趣意ヲ異ニシテ居ルモノデアリマスレバ、舊法
ニ於テ可ナリシモノモ、本法ニ於テハ不可ナリト云フコトニナリマセウケレ
ドモ、舊法ニ於テモ御承知ノ通、會社ノ債權者ノ特別ノ擔保トナツテ、會社
財產ガ全部ナクナツタ上デナイト、社員ニ對シテ請求ヲ爲スコトハ出來ナイ、
此點ハ新舊商法何レモ同ジコトデアル、詰リ會社ガ法人トシテ特別ノ權利義
務ヲ持ツト云フ方カラ論ジマスルト云フト、縱令明カリニ法人デアルト云フコ
トヲ申シマシテモ、申シマセヌデモ、幾分ノ抵觸アリト云フコトハ認メネバ
ナラヌ、會社財產ニ法人ト云フ名ヲ付スルニシテモ、付セヌニシテモ、是ハ會
社ノ債權者ノ別ノ擔保デアルト云フコトハ、同ジコトデアル、此點ニ於イテ、
新舊商法ニ規定ヲ異ニスベキ理由ハナイト思ヒマス、而シテ新舊共ニ一方ニ
ハ、會社財產ノ獨立ヲ認メ、他ノ一方ニハ唯今問題ニナツテ居ル箇條ノ如キ
會社ノ如ク内外ノ境ト云フモノガ、甚ダ著シイモノデハナイデアリマス、ソ
レデ苟モ總社員ガ同意ヲスル以上ハ、ソレヲ法律デ以テ束縛スルニ及バヌ、
但シ外ニ對スル責任ノ上カラ申シマスルト云フト、其結果ガ或ハ其會社ノ資

本ヲ減ズルコトニナルト云フコトニナリマスレバ、ソレハ許サヌノデアリマス、詰リ此五十八條ト云フモノハ、畢竟内外ノ關係ヲ併セテ觀察致シマスルト、債權者ノ權利ヲ害ゼル範圍内ニ於テシカ出來ナイ、先刻例ニ申シ上ゲマシタ場合ガ、實際ニ出來ヤウト思ヒマス、而シテ此規定ガ、合名會社ニ流用セラレマシテ、合名會社ニ於テ矢張總社員ノ同意ガアレバ出來ル。

○(花井卓藏君) 私ガ言ツタノハ、株式會社……

○政府委員(梅謙次郎君) 段々申上グマス、株式會社ニ至リマシテハ、同一規定期ニ依ルコトヲ得マセヌト云フノハ、第一株主總數ノ同意ヲ得ルト云フコトハ、理論上ハ出來マセウガ、實際上ハ殆ド出來ナイ、ソレデ隨分外國ノ不完全ナル法律デハ、株主全體ノ同意ガナケレバ、斯ウ云フコトガ出來ヌト云フヤウナコトニナツテ居ル所モアリマスケレドモ、ソレジヤ實際非常ニ不便デアリマスカラ、段々此進歩シタル法律ニハ、大概一定ノ數ガアレバ、ソレデ決行スルコトガ出來ルヤウニ進ンデ參ラウト思ヒマス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ、株式會社ニ於キマシテ、成程總株主ノ同意ガアレバ、宜シト云フコトニシテモ、假リニ差支ナイモノトシマシタ所デ、實際サウ云フ規定ハ行ハレナイノデアリマス、然ラバ定款變更ニ均シキ如ク、一定ノ多數縦令株主ノ半數ノ株券ノ半額ニ相當スルモノダケデ、決議シテ宜イト云フコトニナツテ來ルト、之ガ定款ヲ變更スルト云フコトデアレバ、格別、サウデナク一時會社ノ目的ガ外ノコト、シテ、定款ヲ變更スレバ、目的ガ變ッテ、目的外ノコトヲスルノデアル、其目的外ノコトヲスルト云フノハ、株主總會ノ多數決ディカヌト云フコトニナツテ居ル、況ヤモウ一步進ンデ參ルト、株式會社ト云フモノハ、無論其性質合名會社合資會社ノ如キ親族的ノモノデナイ、合資會社——現今ノ合資會社ハ、必ズシモ親族的デハアリマセスガ、新商法ニ規定シテアル合資會社ハ、矢張親族的デアル、或場合ニ於テハ——ソレデ株式會社ニ至ツテハ、ソレトハ餘程違ッテ、普通多クノ株主ヲ持ツテ居ツテ、普通多クノ資本ヲ集メテ、サウシテ第三者ヲ信用スルコトガ厚イト同時ニ、株主各自ノ會社ニ對スル利益ハ、却テ比較的少ナインデアリマス、是ニ附イテハ、種々餘計ニ取締マル必要ガアルト云フノデ、或ハ株主ヲ保護スルノ目的ヲ以テ、或ハ第三者ヲ保護スルノ目的ヲ以テ、御覽ノ通嚴密ナ規定ヲ設ケナケレバナラヌヤウニナツタノデ、同ジ法人デモ餘程性質ガ違ウデアラウト考ヘマス(花井卓藏君) 五十九條ニ、持分ノ全部ノ讓渡ト云フコトガ書イテゴザイマス、此持分ノ全部ノ讓渡ト云フ事柄ハ、讓渡人ガ社員タルノ資格ヲ失ヒ、サウシテ讓受人ガ社員タルノ資格ヲ得ルト云フコトニ違ヒナインデアル、ソレカラ又同條ニ持分ノ一部ノ讓渡ト云フコトガ書イテアル、此持分ノ一部ノ讓渡ト云フ事柄ハ、讓渡人ガ以前社員タルノ資格ヲ保有シナガラ、讓受人ガ社員タルノ資格ヲ得ルコトヲ云フニ違ヒナインデアリマス、而シテ此二ツノ場合ニ於テ、何レモ定款ニ記載シテアル社員ノ氏名住所ニ變更ヲ來スト云フコ

トハ、當然ノ結果デアルノデアル、定款ニ記載シテアル事項、即チ社員ノ氏名住所ニ變更ヲ來シマスル事柄ハ、當然商法ノ規定ニ依ッテ、總社員ノ同意ヲ得ナケレバナフヌノデアル、果シテ然リトスレバ、此五十九條ヲ別ニ設ケイデモ、五十八條ノ定款ヲ變更ヲ爲スニハ總社員ノ同意アルコトヲ要スト云フコトデ、私ハ足リルト思ヒマスガ、重複シテ此五十九條ニ規定ノアルノハ、如何ナル御趣意デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ度々吾々カラ御答スル通ニ、會社ノ内部ノ關係デ、會社ノ表ニ誰ガ社員トナツテ、社員タル權利義務ヲ有スルカト云フコトハ、外部ノコトデ、内部ニ於テ此社員ガ、自己ノ利益ノ全部ヲ讓渡シ、自己ノ利益ノ一部ヲ讓渡スト云フコトハ、明文ガナカツタラ、出來タカト云フ疑ガ起ル

○委員長(大岡育造君) チヨツト私ハ據ロナイ用事ガ出來マシタカラ、理事ガ代々テ……

○政府委員(梅謙次郎君) ソコデ此五十九條ノ規定ト云フモノハ、縱令内部ノ關係ニ於テモ、他ノ社員全體ノ承諾ヲ得ナケレバ、出來ヌト云フコトヲ云フノデ、但シ此裏カラ致シマシテ、會社トハ關係ナク、其社員ト他ノ人トノ間ニ其兩人間ニ有效ナルベキ所ノ契約ヲ結ブコトハ、固ヨリ妨ナイ

○(花井卓藏君) 五十九條デスガ、是ハ文字ニ過ギヌノデアリマスガ、文字ニ附キマシテモ十分御注意ニ相成ッテ、先般外ノ委員ノ御説明ヲ聽キマスルト云フト、抵觸ノ抵觸ノ字ハ、手扁ヲ牛篇ニ改メタトマデノ御説明ガアツタノデスカラ、私ハ尙未御尋シマスガ、此五十九條ニ承諾ト云フ文字ヲ用井テアル、是ハ他ノ法文ノ權衡カラ見ルト、同意ト云フ方ガ宜イト思ヒマス、手篇ヲ牛篇ニマデ御注意ニナツテノデ、之ガ獨リ承諾トナツテ居ルノハ、餘程可笑ク感ズルノデスガ、承諾デモ意味ノ取レヌコトハナインデスガ、御説明ガ十分シテ居ラヌノデス、所デ段々先ノ方マデ法文ヲ編纂シテ參リマシタ上デ、種種ナ場合ヲ拾ツテ考ヘテ見マスルト、總社員ノ同意ト云フトキハ、同意ノ方ガ誠ニ都合ガ好イ、サウデナクシテ或ル社員、或ハ社員ノ中デ、一人カラ他ノ社員ニ對スルトカ云フトキニハ、ドウモ同意ト云フ字デ都合ノ惡イ場處ガ、唯今確カニ覺ヘマセヌガ、一二箇所アツタ、ソレデ寧ロ其方ハ、一人ガ言ヒ出シマシテ他ノ者ガ承諾ヲ與ヘルノデアルカラ、文字ニ於テ差支ナイカラ、其方ハ承諾トシテ置カウ、同意ト云フ方ハ、誰ガ言ヒ出シテモ皆ナガ意ヲ同フスルノデアルカラ、宜カラウト云フノデ、サウ云フコトニシマシタ、文字ガ或ハ當ラヌト云フ批難ガアルカモ知レマセヌケレドモ、一處障リマスルト餘程綿密ニ見マセヌト云フト、落が出來ルモノデスカラ、ソレデ篤ト評

議ノ末、サウ云フコトニ極メテ、吾々蚕取眼デ拾ヒマシテ、文例ヲ一致サセマシタ位ノコトデ、深イ意味ハ一向ゴザイマセヌ

○(花井卓藏君) 尚ホ六十條デスガ、是モ矢張承ツテ置ク方ガ宜カラウト思フ、第六十條ニ「社員ハ」トアル「社員ハ他ノ社員」トスウゴザイマスル、其ノ「他ノ社員」ト云フ四字ヲ會社ト云フ二字ニ改メ、ソレカラ第二項ニゴザイマスル——一項ノ末段「是ヲ以テ會社ノ爲メニ爲シタルモノト見做ス」トアル、此「會社」ノ二字ヲ「自己」ノ二字ニ改メルト云フヤウナ考案ヲ持ツテ居ルノデス、ソレデ理由ハ申上ゲマセイデモ、詰リ讀方ガ都合ガ好クッテ、且ツ文章ノ上カラ考ヘテモ、然ラザルヲ得ンデアラウト云フ、私ハ意見ヲ持ツテ居ル、ソレデ特更ニ之ガタメニ「他ノ社員」トアル又一方「會社」

トアルト云フ事柄ニ附イテ、疑ト云フ程デハゴザイマセヌケレドモ、矢張調查委員諸君ノ勞ニ酬ユルガタメニ、此點モ質問ヲシテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此第二節ニ掲ゲテアルコトハ、先刻カラ度々他ノコトニ附イテ述ベラレタ通、會社ノ内部關係デアル、内部ノ關係ト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカト云フト、無論會社ト社員トノ間ノ關係モアリマスガ、併ナガラ主トシテ社員トノ間、即チ社員相互ノ間ノ關係ヲ極メルト云ノガ、重モナモノデアル、故ニ例ヘバ第五十六條ニシテモ、五十七條ニシテモ、五十八條五十九條ノ如ク、總テ「他ノ社員」ト云フコトヲ入レテアル、尙ホ其上ニ第六十條ニ於テ「他ノ社員」ト云フ所ニ「會社」ト云

文字ヲ入レルト云フト、其會社ノ承諾ト云フコトハ、果シテ何ヲ以テ表スルノデアルカト云フ問題ガ必ズ起ルニ違ヒナイ、其場合ニハ會社ノ承諾ト云ヘバ、社員ノ多數決デ極メルノデアルトカ、或ハ其會社ノ承諾ト云フコトハ、即チ他ノ社員ノ全員ノ承諾ト云フコトデアルカト、斯ウ云フ疑ガ起ル、必ズ

「會社」ト云フ文字ヲ入レルト——デ實質ニ於テハ、會社ノ營業ト競争スルガ如キ行爲ヲ、社員ガ爲ス場合ニ於テ、結果ハ會社ノ利益ヲ害スルモノノデアルカラ、總テ外ノ社員ガ、悉ク承諾ヲシナケレバイカヌノデアルト云フコトニシテ、多數決デ極メルノデハナイ、外ノ社員ガ全體一致ヲシナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ意味ニ取ツタノデアリマス、故ニ此處ノ所ハ前條ト同ジャウニ「他ノ社員」ト云フコトヲ入レヌト云フト、甚ダ不都合デアル、ソレカラ……

○(花井卓藏君) チヨツト其次ニ御進ミニナル前ニ、私ハ言ヒ漏シガアツタデス、ソレハ岡野君ノ言ハル、事柄ガ、十分分ツテ居ルノデス、ソレデアルカラシテ私ハ、矢張六十條ノ一項ノ末段ニデスナア、斯ウ云フコトヲ入レルンデス「會社カ此承諾ヲ與フルニハ總社員ノ同意アルコトヲ要ス」トシマヒニ付ケル、サウスレバアナタノ説明ニモ副フ譯ニナルデス、サウシテ矢張前ノ方ヲ會社トシタ方ガ宣カラウト思ヒマス、ソレガ漏レテ居リマシタカラ、從ツテ御答辯モ違フ譯デセウ、サウスレバ御同意ニナル趣意ノヤウナ御答辯デシタナ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ或ハ意味ニ於テハ、同ジコトニナルカラモノハ、矢張内部ノ關係ニ關係シテ來ルコトデ、第五十四條ニ於テ「會社ノ規定ヲ準用ス」ト云フコトガアル、現行商法ニアツテハ、社員ノ權利義務トカ云フ表題ノ下ニ、澤山細カイ規定ガアツタノデス、民法中ノ組合ニ關スル規定ヲ準用スレバ、隨分不用ニ歸スル規定ガアルノデアル、故ニ此修正案ニ於テハ、現行商法ト異ツテ、大分其規定が減ジタノデアリマス、而シテ其減ジタ理由ハドウカト云フト、組合ト云フ契約關係ノ下ニ規定シテアル所ノ規定ヲ準用スルガタメニ減ジタノデアル、サウスルト第一節中ノ多クノ規定ハ、稍々民法ニ云フ所ノ組合關係ノ如キモノガ、社員ト社員トノ間ニアルト云フコトヲ認メテ居ル、故ニ先刻モ申シタ通ニ、第五十六條以下ニ於テハ、總テ社員ト社員トノ關係ト云フコトデ、規定ヲ設ケテアル、且又花井君ノ云ハレタヤウナ但書ヲ加ヘルト云フト、先刻承諾ト同意ト云フコトノ文字ヲ使ヒ分ケタ理窟ニ反スル、一人二人ガ言ヒ出ダシテ、他ノ社員ガ承諾ヲ與ヘルト云フコトニナラナケレバナラヌ、ソレカラ先刻ノ第二ノ質問デアリマスガ、終リノ方ニ或ハ「之ヲ以テ自己ノタメニナシタルモノト見做ス」ト云フコトニ改メタナラバドウデアルカト云フ、斯ウ云フ御質問デスケレドモ、是ハ……

○(花井卓藏君) チヨツト失禮デスガ、是モ言ヒ漏シマシタ、或ハ言漏シト云フデハナイ、言ツタ積リデスケレドモ、斯ウ云フノデス、自己ト言ツテモ、社員自己ト云フ意味デハナイノデ、會社ハデス「會社ハ之ヲ以テ自己ノタメニナシタルモノト見做スコトヲ得」斯ウ云フ趣意ナンデスカラ、サウ云フ御積デ御答ヘヲ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 是モ亦第一項ト同ジコトデ、結果ハ或ハ同ジコトニナルカモ分ラヌ、詰リ斯ウ云フ趣意ノ文字ニ改メタナラバ、ドウカト云フ御意見デアリマセウ、會社ハ他ノ社員ノ過半數ノ決議ニ依ツテ之ヲ以テ自己ノタメニナシタルモノト見做スコトヲ得ト云フコトニ改メタラドウカト、斯ウ云フ御趣意ナンデセウ、ソレガデス、以前ハ此第六十條ニ於テ三十二條第二項及第四項ノ規定ハ、社員ガ前項ノ規定ニ反シタル場合ニ之ヲ準用スト云フコトデ、此三十二條ノ規定ヲ茲ニ引張ツテ來タノデアルガ、ソレガ明瞭デナイト云フガタメニ、書加ヘタト云フコトハ、先日説明シタ通デアリマス、是ハ矢張五十六條以下ノ規定ト同ジコトデ、會社ノ内部ノ關係デアツテ、サウシテ此社員ト社員トノ間ノ關係ヲ規定スルト云フコトヲ重モナ目的トシテ居ルノデ、其社員ノ決議ニ依ツテ始メテ其會社ノモノト見做スコトガ出來ルト云フ、其決議ハドウスルカト云フト、社員ガ過半數デ決議スルノデアルカラ、何處マデモ社員間ノ權利義務ノ社員、相互ノ間ノ法律關係ヲ規定スルト云フ方カラ、言葉ガ立テアルノデスカラ、或ハ結果ニ於テハ同ジコトカモレマセヌガ、五十六條以下ノ規定ノ精神カラ云フト、ドウシテモ斯ウシナイト、

他ノ社員ノ承諾アルトキニアラザレバ云々ト規定セヌト、此趣意ガ貫徹セヌ
ヨ、ニテ一々くコラ、ノノア所ニ云々又ビノヘン、ミ、ミ、ミ、

○(花井卓藏君) 唯今ノ趣意ヲ一ツ私が讀上ゲマスル、修正ノ文字ヲ参考ノタメニ、速記録ニ掲ゲテ置イテ貰ヒタク、第六十條「社員ハ會社ノ承諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノタメニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲナシ又

ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス會社カ此承諾ヲ與フルニハ總社員ソ同意アルコトヲ要スアリカラ別項ニシテ「社員

カ前項ノ規定ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲シタルトキハ會社ハ之ヲ以テ自己ノ爲メニ爲シタルモノト見做スコトヲ得此場合ニ於テハ他ノ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス」トスウヤリタイノデス、其方ガドウモ具合ガ宜イヤウニ思ヒマス、尙ホ是ハ意見ヲ述ベル折ニ説明ヲ致シマス、第二項ノ方ハ私ハ文字ト云フコトノ外ニ、多少理窟ガアルト考ヘマスガ、ソレハ唯今述べマセ

○(後藤又一郎君) チヨウト六十條ニ附イテ御尋ヲ致シマスガ、此六十條ノ第一項デス、第一項ニ依リマスルト云フト、他ノ總体ノ社員ノ承諾ガナケレバ、斯ク々々ノコトハ出來ナイト規定シテアル、ソコデ同條ノ一番末項ニ依ルト云フト、他ノ社員ノ一人ガ其行爲ヲ知ッタキヨリ、二週間ニ其權利ヲ行ハナイトキニハ消滅スル、斯ウナツテ居ル、一項ニハ總社員ノ承諾ガ要ルヨニ、唯一人ノ社員ガ其行爲ヲ知ッテ行ハナイトキニ、所謂權利ノ消滅スル

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ六十條ノ權利ト云フモノハ、隨分莫大ノ權利ト云ハネバナラヌ、甲ト乙トノ間ニ爲シタル法律行爲ヲバ、無關係ノ人間ガ引取ッテ、自分ノ物トスルト云フ權利デアリマスカラ、殊ニ社員ノ方ハ免ニ角、其相手タル人ハ全ク過失ノナイコトモアリマセウシ、其人ハ甚ダ氣ノ毒ノコトモアリマセウケレドモ、ソレニモ拘ハラズ此規定ヲ必要トシテ、第三項ノ規定ヲ認メタノデアリマス、斯ノ如ク莫大ナル權利デアルニ依ッテ、行フナレバ速カニ行ヒマセヌト、程經テ行フト云フコトニナリマスルト、既ニ権利義務ノ關係ト云フモノガ確定シタル後ニ、後トカラソレヲ又脇ヘ移スト云フコトニナシテ、非常ノ面勵ヲ惹起スコトガアル、ソレデ成ルベク速カニ行ハシメタイト云フノガ、元來ノ第三項ノ精神デアリマス、是ニ類スル規定ハ、六十條ノ第一項ノ如キ場合ニハ皆存シテ居マス、所ガ此場合ニ他ノ社員全員ガ知テカラト云フコトニナルト、其一人ガ旅行ヲシテ居ルカモ知レナイ、其一人ハ病氣デ會社ヘ出テ來スカモ知レナイ、如何ナル場合デアッテモ、残ラズガ知タトキデナイト、此權利ヲ行フベキ時期ノ起算點ト云フモノハ始マラヌ、一年ヲ經過スレバ宜イケレドモ、其場合ニハドウシテモ此權利ガ消滅シナイト云フコトニナシテ居リマスト、實際一年ト云フ方ノ適用ハアリマセウケレドモ、二週間ノ方ハ適用ノナイコトガアラウト思フ、元來此權利ト云フモノハ、他ノ社員ノ過半數ノ決議デ出來ルコトデアリマスカラ、一人

ガ知テ其者ガ免三角六十條ノ第三項ノ權利ヲ行フコトニシヤウカシマイカト
云フ考ヲ起スナラバ、速カニ他ノ社員ヲ招集シテ、其中缺席者ハ除キ過半數
サヘアレバ、ソレデ決議シテズシ六十條ノ一項ノ權利ヲ行フテイクコトガ
出來ルノデアリマスカラ、全員ガ行爲ヲ知ルマデ侍ツ必要ハナカラウト思
フ、一人ガ知タラバ宜イト云フノデ、斯ウ云フコドデ一人ト云フコトニシタ
ノデアリマス

トニ三人社員ガ居ル、其二人ノ中ノ一人ハ、此六十條ノ行爲ヲ許ス意思ノアル者、是ガ一人ダケニ、實ハ斯ウ云フコトヲヤルンダト云フ、自分ノ同意シサウノ一人ダケニ、チヨット言ウテ置ケバ、他ノ二人ハ詰リ過半數ニ依ッテ、利益ノ決議ヲスルコトガ出來ル、二人ノ者ガ知ラヌ中ニ、タツタ一人同意スルモノガ出來テシマフト、一週間ノ間ニ此六十條デ與ヘタ權利ガ全クナクナッテシマヒハシナイカ、唯一人ノタメニ他ノ二人ノ、即チ過半數ノ權利ガ僅カノ間ニナクナッテシマフト云フ結果ニナリハシナイカ、斯ウ云フ疑ヲ持ッテ居リマス、サウ云フコトハ別ニ御心配ニナラナカッタノデアリマスカ、今ノヤウニ一人ガ始終直グニ招集スルヤウナ方ノ側ノ一人ガ知レバ、サウ云フコトハナインデス、同意シサウナノガ一人デ、後トノ二人ガムヅカシイト云フ場合ニ、全ク是ガナクナッテシマフヤウニ思ヒマスガ

○政府委員(梅謙次郎君) 一体此六十條ノ二項ノ權利ハ、先刻モ言フ通り餘程嚴シイ權利デス、外國ノ例ニモサウ澤山ナイ權利デアリマス、ソレデアリマスカラ此權利ヲ認ムルコトハ、ドウカト思フノデスガ、第三項ノ如キ極ク短イ期間ヲ附シテ認ムルナラバ、格別不都合モナカラウト云フノデ、認メタ位デアリマス、他ノ社員ノ權利ヲ重ンジ、他ノ社員ノ利益ヲ保護ストト云フ點ノミカラ観察ヲ下セバ、唯今望月君カラ言ハル、通ニナリマセウカラ、從テ他ノ社員ノ一人ト云フコトモ、少クモ他ノ社員ノ過半數ト云フコトニシナケレバナラヌト云フコトモアリマセウガ、此ノ二項ノ權利ガナクナッタカラ、直チニ六十條ノ規定ガ全部ハマラヌノデハナクシテ、第一項ノ規定ダケヲ當籍メテ、其結果トシテ矢張社員ト云フモノハ、場合ニ依ッテハ除名マデサレルト云フヒドイ制裁ガ附シテアリマスカラ、唯今ノ弊ハ若シアルトシテモ、極ク稀レナコト、考ヘマス

○(花井卓藏君) 六十五條ニ附イテ御尋致シマス、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデス、社員ニアラズシテ會社ノ商號中ニ其氏又ハ氏名ヲ用井ルコトヲ承諾致シマシタル場合ニハ、本條ヲ御適用ニナル御精神デゴザイマスカ、又合名會社ノ商號ト云フモノニハ、社員ノ氏又ハ氏名ヲ用井ルコトヲ要スルノ規定ガナインデアリマスカラシテ、縱令社員デナイモノガ、會社ノ商號中ニ其氏又ハ氏名ヲ用井ルコトヲ承諾シテモ、之ヲ以テ直チニ社員ニアラザルモノ

ニ、自己ヲ社員ナリト信セシムベキ行爲ヲナシタルモノトハ言ハレメヤウニ
考ヘルノデアリマスカ、ソレ等ノ邊ハドウデゴザイマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此第六十五條ノ規定ハ、可ナリ廣イ規定デス、
固ヨリ合名會社ノ商號トシテ、社員ノ氏名ヲ用井テハナラナイ、或ハ用井ナ
クテハナラナイト云フ規定ハ一モナイノデ、會社ノ謂ハミ社員全体ノ勝手次
第ニ、或ハ社員ノ氏又ハ氏名ヲ商號中ニ加ヘヤウトモ、或ハ業務ノ目的カラ
商號ヲ選バウガ、ソレハ勝手デアル、而シテ其社員ニアラザル者ノ氏名ヲ勝
手ニ社員ガ用井タト云フ場合ニ、其者ガ第三者ニ對シテ責任ヲ負フベキ理窟
ハナイノデアルケレドモ、其社員ニアラザル人間ガ、會社ノ商號ニ自分ノ氏
又ハ氏名ヲ加ヘテ、商號ニシテモ宜シトイ云フコトヲ認メテ許シタ場合ナラ
バ、多クノ場合ニハ社員ニアラザルモノニ、即チ自己ヲ社員ナリト信セシム
ベキ行爲ガアタト云フ中ニ這入ルノデアリマス、デアルカラシテ其者ハ、善
意ノ第三者ニ對シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フ結果ニナリマス、併ナガラ此
第六十五條ハ廣イ意味デアルカラシテ、或ハ全ク社員會社ト云フコトニ關係
ノナイ人間モ這入り得ベシ、或ハ又以前會社ニ關係ガアッテ、サウシテ退社
シタト云フモノガ、其氏又ハ氏名ヲ商號ノ中ニ加ヘテ居ツタノヲ、何時マデ
モ抛シテ置イテ、自分ノ氏名ヲ除イテ吳レト云フコトヲ言ハズニ置イタ場合
モ、此中ニ這入ル、又其他會社ニ關係ノナイ人間ガ、或ハ會社ノ社員デアル
ガ如キ様子ヲシテ、ソレヲ會社ノ方デ認メテ打棄テ、居ル、第三者ハアレハ
社員デアルデアラウト云フコトヲ、十分信用スルヤウナ事實ガアルトキハ、
又第六十五條ノ規定ヲ用井ル、今舉ゲラレタ例ハ此第六十五條ノ中ニ規定シテ
アル、一ノ例ニ過ギナイ

○(望月長夫君) 私ハ此第六十五條ハ、寧ロ心要デナイ條文デナイカト云フ
疑ヲ持テ居ル、是ハ要スルニ私犯ノ原則カラ、出テ來タモノデアラウト思
フ、茲ニ態々之ヲ書カズトモ、已レヲ社員デナイト信セシムベキ行爲ヲナシ
テ、ソレガタメニ第三者ヲ誤ラシメタモノハ、私犯ノ原則カラ、當然私犯上
ノ責任ヲ持テ居ルカラ、會社デアルガ爲メニ、特ニ起ル事柄デハナクシテ、
何レノ場合ニモ適用ノ出來ル、私犯ノ法則ヲ適用シテ濟ミヤセヌカト思ヒマ
スガ、特ニ此規定ヲ要スル譯ハ、ドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 結果ガ同ジクナイ、唯民法ノ七百九條ヲ適用スル
コトニナリマシテハ、損害ガ生ジタラ、其損害ヲ證明スレバ、其損害ガ取レル
ニ過ギナイ、社員ト同一ノ責任ヲ負フコトニナリマスレバ、會社ノ財產ヲ以
テ辨濟ガ出來ナイトキハ、連帶シテ直チ——例ヘバ社員ニアラザルモノニ
シテ自己ヲ社員ナリト信セシメタモノニ、全部ヲ請求スルコトモ出來ル、唯
今ノ私犯ノ原則ニ依リマスルト、結果ガ大變違フノデス

○(望月長夫君) ドウデゴザイマセウ私犯ノ原則ニ依ツテモ、此私犯ノタメ
ニ害ヲ受ケタモノハ、全部其者ニ向ツテ請求ハ出來ヤシマセヌカ

○政府委員(梅謙次郎君) 損害ノ全部デスカ

○(望月長夫君) サウデス

○政府委員(梅謙次郎君) 損害ヲ受ケルカ受ケナイカ分ラナイ、ソレハ餘程
能ク調べテ見ヌト分ラヌ、即チ此者ハ社員ナリト信ジテ居ツテ、ソレデ其會
社ヲ信用シテ金ヲ貸シタ所ガ、其貸シタ金が餘リ多クノ額デアッテ、其會社
ニハ外ニモ負債ガアッタメニ、愈々解散トナツテ、會社ノ財產ヲ其全部ガ
拂ヘナカツタ場合ニハ、殆ド問題ガ起ラナイ、其場合ニ半額拂ツタガ、半額
残シテ居ル、サウスルト其者ハ社員デナイケレドモ、外ニ社員ハアル、其
社員ニ資力ガアレバ、今ノ人ハ一向損害ヲ受ケナイ、其本當ノ社員カラ、辨
濟ヲ受ケルコトガ出來ルカラ、損害ヲ受ケナイ、ソレガタメニハ本當ノ社員
全體ニ向ツテ、一々請求シテ見ナイト分ラナイ、請求シテ即チ強制執行マヂ、
總テヤツテ見テ、ソレデ愈々取レナイトキニナルト、其殘額幾ラ残ルカ知ラ
ヌガ、其足ラナイ殘額ダケヲ、始メテ損害賠償トシテ請求ガ出來ル、是ニ反
シテ社員ト同一ノ責任ヲ負フコトニナルト、本當ノ社員ハ幾ラアラウトモ、
ソレハ打棄テ、置イテ、此第六十五條ノ行爲ノアツタモノヲ、相手取ツテ、會
社ノ財產デ拂ヘナカツタ債權額ヲ、全部取ルコトガ出來ル

○(花井卓藏君) 六十六條ニ出資ト云フ字ガ書イテアル、是ハ元ノ草案デ
スウ書イテアル、之ヲ改正ニナリマシタ理由ハ、先般御話ニナツテ居ルカ知
リマセヌガ、私ハ能ク記憶シテ居リマセヌ、ソレカラ直グ七十一條ヲ御覽ニ
ナルト、七十一條ニ又持分ト書イテアル、チヨツト其點ヲ御伺ヒ申シタイ
云フモノハ定款ノ定ムル所ニ依ツテ、社員ガ其會社ニ投ジタル所ノモノヲ出
資ト云フケレドモ、會社ノ營業ノ成績ニ依ツテ、或ハ會社ノ財產ト云フモノ
ガ、非常ニ殖エルコトガアル、其場合ニハ出資ハ依然ダル出資デアルケレド
モ、持分ト云フモノハ非常ニ殖エテ居ルト云フコトガアル、又會社ガ損ヲシ
タト云フヤウナ場合ニハ、出資ハ元ノ出資ノ額ヲ持ツテ居ルケレドモ、持分
ハ減ジテ居ル、故ニ出資ハ法律上一向變動セザルモノデアルケレドモ、持分
ト云フモノハ營業ノ成績ニ依ツテ、或ハ今日ハ澤山持分ガアルト云フコトモ
アリ、明日ニナレバ減ルト云フコトモアル、ソレデ無論出資ト持分ト云フコ
トハ達フノデアル

○政府委員(岡野敬次郎君) 何ゼ六十六條ノ規定ハ、出資ニ限ツタカト云ヒ
マスルト、此第五十條竝ニ五十一條ニ社員ノ出資ノ種類及ビ財產ヲ目的トス
ル出資ノ價格ト云フコトガアル、此社員ノ全體カラシテ醸出シタル此出資
ガ、即チ會社ノ財產デアル、此會社ノ財產ハ、會社ノ債權者ガ優先權ヲ持ツ

テ居ル所ノ財産デアル、故ニ濫ニ其出資ヲ減少シテハ困ル、併ナガラ持分ノ減少ト云フコトハ、若シ出資ノ額ヨリ以上ノ持分ガ、或ル持分ト出資ト比較スルト、持分ノ方ガ多イト云フ場合ニハ、即チ會社ノ債權者ガ、優先權ヲ持ツベキ元來會社ノ財產ヨリ以上ノモノガ、會社ノ財產ト云フ名義ヲ以テ存シテ居ル、其場合ニハ、社員ガ利益ノ配當ト云フ名義デヤラウガ、配當金ト云フ名義デ、社員ノ間デ分タウトモ、ソレハ社員ノ勝手次第デ、決シテ會社ノ債權者ニ損害ヲ與ヘルト云フ恐レハナイ、而シテ出資ノ減少ト云ヘバ、是ハ定款變更デアル、故ニ社員ノ全体ガ同意セヌト云フト、固ヨリ出來ナイコトデアル、縱令總社員ガ同意シテモ、第六十二條ニ規定ガアツテ、會社ノ債權者ヲ代表スルコトヲ得ナイ、斯ウ云フ譯デゴザイマス

○(花井卓藏君) 此會社ノ外部ノ關係ノ節ニ於テ、民法ノ五十六條、ソレカラ五十七條等ノ準用ハナクッテモ、差支ナイト云フ御考ヘデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ差支ナイ積リデゴザリマス、其差支ナイト申シマスル理由ハ、合名會社ト云フモノハ、元來社員ノ利益ノタメニ立ツテ居ル、ソレデアリマスカラ原則トシテハ、各社員ガ平等ノ權利ヲ持ツテ、會社ノ業務ノ實行ニモ與リ、又會社ヲ代表スルコトニモナルノデアリマス、ソレデ其丁度民法ノ法人ノ理事ニ與ルモノハ、ドウ云フモノデアルカト云フト、會社ノ代表者デアル、會社ノ代表者ニ付イテハ、六十一条ニ規定ガアリマシテ、ソレデ其「定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スヘキ社員ヲ定メサルトキハ各社員會社ヲ代表ス」トアル、其代表スペキ社員ガナクナクタ所デ、一向困ラヌ、所謂自他ノタメニ損害ヲ生ズルコトハナイ、又事實上サウ云フ虞ガアルノヲウツヤツテ置イタ所デ、ソレハ社員ノ勝手ニアツテ、自己ノ利益ヲ十分保護シナイト云フコトニナルノデアリマスカラ、裁判所ガ干涉シテマデ、其儘ニ會社ノ代表者ヲ定メシムル必要ガナイ、之ニ反シテ民法ノ方デハ、法人ト云フモノハ、誰ノ利益ノタメニ立ツテ居ルノデナイ、唯公益ノタメニ立ツテ居ルノデアリマスカラ、從ツテ理事ガ置イテナイタメニ、ドンナ損害ガ生ズルカモ知レマセヌ、其場合ニ外ニ仕様ガナイカラ、裁判所デ干涉スルト云フコトニナクテ居ル、此五十七條ノ場合モ略々同ジヤウナ譯合デ、此場合デモ理事ト云フノハ、例ヘバ此合名會社へ當該メテ見ルト云フト、所謂代表社員ニアタリマスガ、其代表社員ト云フモノト、法人タル合名會社ノ利益相反スル行爲デアレバ、固ヨリソレニ付イテハ、其理事ハ會社ヲ代表スルコトガ出來ナイ、ソレハ民法ノ規定カラ、當然定ツテ居ルコトデアル、併ナガラ其場合ニ特別代理人ヲ選任シナクテモ、總社員ノ同意ヲ以テ適當ナ人ヲ定メルコトガ出來ル、又代表スル社員ノ事故アル場合ニ、其事ニ付イテ他ノ社員ガ、會社ヲ代表スレバ足ルト云フコトデ、ソレデ五十七條ノ如ク、同ジク裁判所ニ干涉セシムル必要ガナイト認メタノデアリマス○(花井卓藏君) 是ニ付イテハ、勿論私ハ議論ガアリマスカラシテ、議論ニ涉ルコトヲ申ス事柄ハ、趣意デゴザイマセヌカラ、矢張民法ノ第五十六條第

五十七條ノ法文ヲ、其儘速記録ニ載セテ置クト云フコトノ許可ヲ得タイ

○理事(林喬君) 宜シウゴザイマセウ

○(花井卓藏君) 然ラバ

第五十六條 理事ノ缺ケタル場合ニ於テ遲滯ノ爲メ損害ヲ生スル虞アルトキハ裁判所ハ利害ノ關係又ハ檢事ノ請求ニ因リ假理事ヲ選任ス

ス

第五十七條 法人ト理事トノ利害相反スル事項ニ付イテハ理事ハ代理權ヲ有セス此場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依テ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要

是ダケノ條文ヲ載セテ置キタインソレカラ第七十條デスガ、矢張文字ニ付イテ御尋申シタイ、社員ノ一致ト云フ事柄ガ書イテアル、此一致ト云フ文字ハ、ドウ云フ趣意ナノデスカ、同一トモ違フシ、承諾トモ違フシ、餘リ法典デ御注意ニナツタトシテハ、是ハ不都合デナイカト思フ、斯様ナ文字ハ、意義ガ異ナラザル以上ハ、一樣ニ出ナケレバナラヌ、或時ニハ承諾、或時ニハ同意、或時ニハ一致ト云フ、サウンテ御説明ヲ聽イテ見ルト、成程承諾ト同意トハ、似テ居ルモノ、如ク、似テ居ラザルモノ、如ク、隨分商法ノ上ノ法律上ノ言葉ガ、他ノ法律上ノ言葉トハ、マルデ意味ヲ異ニスルト云フ關係ガアツテハ、變ダト思ヒマスガ、茲ニアル一致ト云フノハ、矢張所謂一致デ、同意ト云フ趣意ナシデスカ、文字ハ僅カデゴザイマスケレドモ、御答辯ノ御趣意ニ依シテハ、是モ私ハ修正ヲシタイト思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) 先刻同意承諾ニ附イテ御質問ノアツタ通、同意ト云フノハ、總社員ノ同意ト云フノデス、他ノ社員ノ場合ハ、一人ガ申出タ場合ニ、他ノ社員ガ是ニ承諾ヲ與フルト云フトキニ、他ノ社員ノ承諾、所ガ此第七十條ニアツテハ、一人ノ社員ヲ除名シヤウト云フ場合ニ、他ノ社員ガ其第七十條ニ掲ゲテアル所ノ犯則ヲヤツタガタメニ、除名ヲシヤウト云フノデアルカラ、除名セラレル方カラ申出テ、ソレニ對シテ同意シテ、他ノ社員ガ承諾ヲ與フルノデハナイ、他ノ社員ノ方カラ、進シデヤルノデアリマスカラシテ、總社員ノ同意トモ云ヘズ、又承諾トモ云ヘズ、コチラノ方カラ、一致シテワレヲ除名シヤウト云フノデアルカラ、サウ云フ場合ニ、此一致ト云ラ文字ヲ用井タノデアリマス

○(花井卓藏君) 御説明ノ趣意ニ依レバ、同意トハ達フカト思ヒマスガ、商法ノ同意ト云フノハ、普通一般ノ同意ト云フ言葉トハ、全ク達ツテ居ル趣意ニナツテ居ルノデアリマスカ、サウ固執セラレルナラバ、十分ニ御尋ヲシタイ、同意ニ外ナイト思フ、ソレカラ梅君ノ御説明ニナツタ承諾ト雖モ、同意ニ外ナラヌノデアラウト思フケレドモ、ソレハ固ヨリ範圍ノ廣狹ニ依シテ制限ヲシタト云フ事柄デアルカラシテ、稍々分ル、是モサウ云フヤウナ趣意カラ出タ文字ナラバ、格別デスガ、除名ヲスルト云フ場合ニ、同意デハイカナイ、必ラズ一致ナラザルヲ得ヌト云フ事柄ニナルト、餘程變ナ事柄デハゴザイマセヌカ、一致ト云フコトト同意ト云フコト、ハ、ドウ云フ區別ガアルノ

デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 勿論其承諾ニシテモ、同意ニシテモ、一致ニシテモ、意思ヲ同フスル點カラ云ヘバ、同ジ事デアルケレドモ、其同意ト云フノハ、總テノ社員ニ附イテ云フノデアリ、ソレカラ承諾ト云フノハ、一人ガ別物ニナツテ居ッテ、其社員ガ申出タトキニ、他ノ社員ガ是ニ對シテ同意ヲ表スルト云フトキガ、即チ承諾デアル、ソレカラ他ノ社員ガ全体一致シテ、一人ヲ相手ニシテ、自分ノ方カラ進ンデ、或ル行爲ヲシヤウト云フトキニ、一致ト云フ文字ヲ用ヰタノデ、ソレデアリマスカラ、使ヒ分ケテアルノデス、併ナガラ理窟カラ言ツテ、意思ヲ同フスルト云フ點カラ云ヘバ同ジデアル、唯同意ト云フ文字ガ、趣意ガ違ッテ居ルカトモ思ハレルノハ、即チ第七五條ノ規定デアル「前條第一號ノ場合ニ於テハ社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ヲ繼續スルコトヲ得」是ニ付イテハ、一部ノ同意ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ第一ハ全部ニ付イテハ同意ト書キ、一部ニ付テハ一致ト書クト云フヤウニ、嚴格ニ區別スルコトモ出來ズ、是又此場合ニ一部ノ同意ト云ヘバ、即チ後ニ殘ルモノ全体ヲ云フノデアリマスカラ、茲ニ一部ノ同意ト云フコトヲ入レタノデアリマス、即チ後ニ殘ルモノ全体ヲ言フノデアル、ソレデ此處ニ於テ一部ノ同意ト云フ文字ヲ用ヰル他ノ場合ハ、先刻述々標準ニ依ツテ、同意承諾一致ノ區別ヲ立ツタ積リデアリマス

○(花井卓藏君) 此場合ニ於テ法典ニ關スル政府委員ハ、一字一句ノ微ト雖ニ依ツテ、同意承諾一致ノ區別ヲ立ツタ積リデアリマス

○(花井卓藏君) 此場合ニ於テ法典ニ向クテハ、全然吾等ノ技モ、苟モ立法部ノ議員ノ意見ヲ採ラヌ、唯此法典ニ向クテハ、全然吾等ノ技倆ヲ信ジテ、盲從セヨト云フコトヲ明言セラレタ趣意ニ歸着スルト斷言致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今花井君ノ斷言ニ付キマシテハ、勢ヒ政府委員ニ於テモ、一言シナケレバナリマセヌ、政府委員ハ決シテ左様ナ偏頗ナ考ヲ持ツテ居ルモノデハナイノデ、文字ハ人々ノ好キ嫌ヒモアリ、色々致シマスルノデ、此法文ニ用ヰテアル文字デナヤウニシタイ、其外成ルベク穩當ノ文字外ノ文字ヲ用ヰテモ、意ハ通ズル場合ガアルデス、併ナガラ國家ノ法ト云フベキモノハ、成ルベク體裁ノ上ニ於テモ、揃ツテ同ジ意味ノ所デアリナガラ、色々ノ文字ヲ使フト云フコトモナイヤウニシタイ、其外成ルベク穩當ノ文字ヲ用ヰタメト云フタメニ、此法典ハ御承知ノ通外ノ法律案ト違ツテ、唯一省立案シタノヲ、法制局ディヂッテ、直チニ議會ニ提出スルト云フ、輕々シイ方法デナク、法典調査會ト云フ種々ナ種類ノ人ヲ集メタ委員會デ、先づ以テ起草委員ヲ設ケテ、其委員ガ起草シタモノヲ會議ニ付シテ、ソレモ大抵ハ數回ノ會議ヲ經テ、而シテ議決シタモノヲ、再び整理委員ヲ設ケテ整理シテ、又會議ニ掛ケテ、ソレモ亦大抵數回ノ會議ヲ經テ、然ル後此議會ニ提出シタモノデ、其間ニ唯今ハ唯一行キ道ヲ申シタノミデアルカラ、簡單デアリマスガ、其間起草委員ノ手カラ離レテ出ルマデニハ、數回ノ協議ヲ經、此議事ニ付スルニモ、議事ハ數回ノ會議ヲ重ネテ決シタモノデアル、隨分鄭重ニ鄭重

ヲ加ヘテ、編纂致シタノデアリマス、勿論人間ノ思想ハ、餘程不完全ナモノデアリマスカラ、縱令法典調査會ニ於テ完全デアルト思ツテ居テモ、缺點ノアルト云フコトハ、認メナケレバナラヌシ、況ヤ此議決デ矢張ヤルコトデアリマスカラ、一人デヤルヨリモ、ヒヨットスルト缺點ノ生ズルト云フコトモ、認メナケレバナリマセヌガ、サウ云フ弊ノ少ナイヤウニ、一旦決議ニナツタコトデモ、又他ノ箇條等ト比べテ、ソレヲ不穩當ト思フコトハ、唯意味ニ於ケルノミナラズ、文字ニ於テモ亦更ニ評議ヲシテ決スル位ノ手順ニ致シタノ論ノ末、數回ノ修正ヲ經テ、今岡野君カラ言ハレタ標準ニ依ツテ定メ、同意ト云フノハ總社員ノ同意、即チ七十五條ノ場合ノ一部ノ同意ハ、是ハ後ニ残ツテ存スル會社ノ總社員ノ同意ダカラ、同意デ宜イト言ツテ、研究ヲシテ極メタノデアリマス、一致ト云フ方ハ、今言ツタ全員デハナイケレドモ、省カレタ人間ノ方カラ、發議シタコトデナイモノニ附イテハ、一致ト言ヒ、省カレタ人間カラ言ツタキニハ、承諾ト云フ、一ト通文字ノ使ヒ分ケモ、マルデ當ズッポウデハナイ、多少標準ガアル積リデアル、斯ノ如キ標準ヲ以テ此六百五十條ニ瓦ル法典ヲ編纂シ、又文字ハ民法トモ牽聯スルコトガアッテ、サウシテ一定ニナルベキヤウニ極メヤウト云フノデ、極メタノデアリマスカラ、諸君ハ十分御研究ニナツテモ居リマセウガ、諸君ガ此方ガ宜カラウト云フコトデアッテモ、唯其處ヲ直シテ濟ムヤウナコトデアルナラバ、隨分御同意シテ、ソレガタメニ六百何十條ノ箇條ニ依ツテ、餘程注意ヲシテ見ヌト、一所改メタタメニ、不揃ノモノヲ揃ヘル虞ガアリマスカラ、易ク御同意ハ出來メノデ、決シテ花井君ノ言フノヲ、理窟ガナイト考ヘル譯デハナシ、又此委員カラ提出スル修正ハ、何デモ彼デモ反対ヲスル抔ト云フヤウナ、サウ云フ考ハ毛頭ナインデアリマスル、之ヲ斷言致シテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 尚ホ私カラ一言シタイノハ、今花井君ガ述ベラレタノハ、修正意見デアルト云フノデ、私ガ申シタノデハナイノデアリマス、修正意見ニ同意スル同意セヌト云フコトハ、今日ノ問題デハナイノデス、唯一致ト云フ文字ヲ、何故ニ同意承諾ト云フコト、更ヘテ、殊更斯ウ云フ文字ヲ使タカト云フ御質問デアリマシタガ故ニ、ソレニ對シテ御答ヘヲシタノデ、唯今ハ修正意見トシテ提出セラル、場合デナク、從ツテ之ニ同意スル承諾スル一致スルト云フヤウナコトモ、吾々ノ方デハ言ハヌノデアリマスカラ、此點ハ御了承ヲ請ヒマス

○理事(林喬君) 質問ニ關係ノナイコトハ、モウ止メニ致シマセウ

○(花井卓藏君) チヨツト唯今ノコトデ一言致シタイ、續キデアリマスカラ、勿論私ハ同意一致承諾ト云フヤウナ文字ヲ一ツニシタイト云フ位ナ、少シナ希望ヲ持ツテ居ルノデハナイ、若シ政府委員ニシテ同意セラレ、諸君ニ

シテ同意ヲシテ下スツタナラバ、實際ハ此御提出ノ商法ヲ、半分位ハ修正シ
タイト云フ大抱負ヲ持テ居ルノデアリマス、併ナガラ會期モ迫リ、前ノ法律
ト比較シマスレバ、上等ニ出來テ居リマスカラ、成ルベク讓リタイガ、万々
已ムヲ得ヌ傷合ハ、改正シタイト云フ考ヘヲ持テ居ルノデゴザリマス、併ナ
ガラ同意或ハ一致ト云フヤウナコトスラモ、御同意ガナイト言ヘバ、其他
コレ以上ノコトハ、勿論大修正ニナルコトデアリマスカラ、悉ク御同意相成
ラヌモノト認メルカラ、如何ニモ遺憾千万ナ話デアリマスカラ、チヨット私
ハ一言シテ置キマシタ、唯同意一致ト云フ事柄ハ、政府委員ノ將來私共ノ提
出スル修正案ニ對シテ、如何ナル意図ヲ有シテ居ルカト云フ存慮ヲ説明スル
趣意ニ、私ハ言フテ置イタノデアリマス

○(望月長夫君) 大變ナ問題ニナリマシタガ、同意トカ承諾トカ云フ文字
ハ、直チニ意思投合ト云フコトヲ意味スルト云フコトガ、能ク分ル文字デア
ルケレドモ、一致ト云フ字ハ、必ラズ意思ガ同時ニ投合セズトモ、昔ノ人ト
今ノ人ト言ツタコトガ、一致スルトカ、或ハ二人ノ者ノ意思ガ投合セズトモ、
同シ方向ニ向ツテ歩イタ場合ニ、一致シテ歩イタト云フヤウナ風ニ、意思ノ
投合ト云フコトヲ直チニ言ヒ現サヌ文字デ、民法ノ原則ガドウトカ何トカ云
フ場合ニハ、意思ノ投合ヲ言ヒ現ハスガタメニ、一致ト云フ文字ヲ使ツタ所
ハ少ナイヤウニ思ヒマス、私ハ能ク覺エハナイガ、民法ノ中ニ意思ノ投合ト
云フコトヲ言ヒ現ハスニ、一致ト云フコトヲ言ヒ現ハシタ例ガアルノデゴザ
イマセウカ

○(政府委員(田部芳君)) 組合ノ六百八條ニ、一致ト云フ字ガ使ツテアリマス
○(花井卓藏君) 七十四條ニ付イテ質問致シマス、七十四條ハ會社が解散ス
ル事由ヲ列舉シテアル條文デアリマスガ、此中ニ會社ノ缺乏シタ場合ノ規定
ガナイ、社員ノ缺乏ト云フノハ、社員ガ残ラズ同時ニ退社シタト云フ場合ナ
ノデアリマス、斯ノ如キ事柄ハ事實ノ上ニ於テ、アリ得ベカラザルコトデア
ルト云フ、御議論ガアルカ知ラヌケレドモ、併ナガラ理想上必ズアルベキコ
トデアル、社員残ラズガ退社シタ場合ニハ、七十四條ノ第五項ニハ、勿論該當
セヌモノデアラウト思フ、即チ「社員カ一人ト爲リタルコト」ト云フ部分ニ
ハ當嵌ラヌト思フノデゴザイマス、而シテ斯ノ如キ場合ニハ、會社ト云フモ
ノハ、解散セシムルノ外ニハ途ハナイダラウト思フノデアル、然ルニ此解散
事由中ニ、ソレガナイノハ、ドウ云フ御考ナノデゴザイマスルカ、又何レカ
ノ部分ニ含マレベキ法文デモアリマスカ、ソレヲチヨツト御尋シタイ

○(政府委員(梅謙次郎君)) 法律上ニ於テハ、社員ガ全ク同時ニ退社ヲナスト
云フ場合ハ、ドウモナカラウト思フノデアリマス、普通ハ此會社ト云フモノ
ハ、意思表示ニ依ツテ爲スコトデアリマス、ソレデアレバ、必ズ會社ヲ代表
スベキ人ガアツテ、其人ニ對シテ退社ノ辭表ヲ出ス、サウスレバ一番最後ニ
取残サレタモノガ、ドウシテモ一人ニナル、其時ニ解散ヲスル、其モノマデ
退社ヲシナイ内ニ解散ヲスル、其他ノ場合デハ、事實上サウ云フ場合ハ見ラ

レヌデアリマス、死亡杯ノ場合ハ、成程一縁ニ死スト云フコトハ、想像ガ出
來ヌコトハナイ、此コトニ附イテ隨分歐羅巴ノ學者杯ハ、色々議論杯ハシテ
居リマスルケレドモ、是トテモ非常ニ稀ナ場合デアツテ、既ニ民法ニ於テモ、
此場合ニ關スル規定ヲ設クル必要ハナイト云フノデ、前ノ民法ニモ規定ガナ
シ、今度ノ民法ニモ規定ガナイト位デアリマスカラ、サウ云フ場合ヲ想像ヲス
ル必要ガナイノミナラズ、此場合ニ於テハ、理論上誰ガ一番後トテ死亡シタ
ニモシロ、其モノ、生キテ居ル間ニ、會社ハ既ニ解散ヲスル、詰リ唯今ノヤ
ウナ場合ハ、無論理論上ハ想像ガ出來マスルケレドモ、實際上ニ於テハ、規
定ヲ要スル程ノコトハナカラウト考ヘマス

○(花井卓藏君) 七十六條ニ、裁判所ノ命令ニ依リ解散ト云フ文字ヲ入レナ
ケレバ、斯ノ如キ場合ノアリシトキノ適用ニ困ルト思ヒマスルガ、其分ハ別段
登記ヲ要スベキモノデハナイト云フ事柄ニ、御認メニナツテ居ルノデゴザ
マスカ

○(政府委員(梅謙次郎君)) 怖モ茲ニ取除イテナインデスカラ、登記ヲ要スル
ノデ、而シテ一週間ノ期間ハ、ドウ云フ風ニ起算スルカト云ヘバ、ソレハ裁
判所ノ命令ノ確定シタルトキカラト云フノデアリマス

○(花井卓藏君) 然ルニデス、裁判所ノ命令ニ依リ解散ト云フ事柄ガ、七十
六條ニナインデスガ、ドウ云フ御答辯ノ趣意ナシデスカ

○(政府委員(梅謙次郎君)) 七十六條ハ、合併及破產ノ場合ヲ除イテハ登記ヲ
シナケレバナラヌト、斯ウナル、此處ニ除イテナイ場合ハ、總テ登記ヲシナ
ケレバナラヌ

○(花井卓藏君) 私ノ考デハ、合併破產、ソレカラ裁判所ノ命令ニ依リ解散ト
云フガ如キモノハ、行爲ノ性質トシテ略々類似シテ居ルモノデアルカラシテ、
是モ矢張除外例ノ方ニ置ク方ニ見タイト思フノデスケレドモ、サウ云フ御趣
意デハナイノデスカ

○(政府委員(梅謙次郎君)) ソレハ違ヒマスル積リデス、合併ヲ除イタノハ
デアルカト云フト、合併ノ場合ニハ、モツト細カイ規定ガアリマス、唯「登記
ヲナスコトヲ要ス」ト云フコトデハイカヌ、七十七條ニモ詳シイ規定ガアツテ、
登記ノ如キハ八十一條ニ規定ガアル、破產ニ關シテハ、是ハ御承知ノ通破產
ノ宣告ト云フモノハ、破產法ノ方ニ公示方法ヲ取ツテアリマスカラ、ソレデ其
場合ハ、モウ別ニ此規定ニ依ツテ登記スルコトハ入ラナイ、唯破產裁判所カラ
非訟事件手續法第百八十一條ニ依リマシテ、裁判所ノ命令ニ依ル場合ハ、此
百八十一條ノ第三項ニアリマスル、ソレカラ破產ノ場合ニハ、登記簿ノ整頓
ノタメニハ、矢張登記ヲ必要ト致シマスケレドモ、併ナガラ其當事者カラ、
此期間内ニ登記スペキモノニナツテ居ラヌノデゴザリマス、百五十二條ノ破
產ノ場合ニ關スル規定ガアリマス、非訟事件手續法ノ百五十二條……

○(花井卓藏君) 裁判所ノ命令ニ依リ解散ト云フモノハ、合併破產ノ場合ト
同様ニ見ラレヌ理由ヲ承ハリタイト云フ趣意デ、質問ヲシタノデゴザリマス

ガ、私ハ……

○政府委員(梅謙次郎君) 合併ノ場合ニ於キマシテハ、所謂登記ハサスノダ、是ハ精算ト云フモノヲ致ス場合ニ於テハ、是産ノ場合ニハ、是ハ破産宣告ト云フモノハ、御承知ノ通既ニ餘程ノ公示方法ニ依ルモノデアリマスカラ、ソレデ此七十六條ニ依クテ登記ヲナスコトハ入ラナイ、之ニ關スル普通ノ裁判所ノ命令デアリマスルト、破産宣告ノ如キ大イナル公示方法ト云フモノハナイノデアリマス、即チ登記ノ外ニ公示方法ハ殆ドナイノデ、ソレデアリマスカラ、裁判所ノ命令ノ場合ハ、矢張登記ヲサスト云フコトニナシテ居リマス

○(花井卓藏君) 七十八條ノ第二項ニ「知レタル債權者」ト云フコトガ書イテアル、ソレハ債權者ノ氏名住所ノ知レタト云フコトヲ云フノデスカ、或ハ債權ノ目的原因ハシノ知レタルコトヲ要スル趣意デスカ、尙ホ進ンデ債權者タルヤ否ヤノ疑ハシキ場合マデモ、包含セシムル趣意カ、實際問題ニ付イテ必ズ起ルベキ争ト思ヒマスカラ……

○政府委員(梅謙次郎君) 債權者タルコトハ知レテ居ラナケレバナラヌ、併ナガラ其權利ノ範圍等ニ付イテ疑ガアツテモ、ソレハ關ハヌ、債權者タルコトガ知レテ居レバ、ソレニハ總て催告ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナシテ居ル

○(花井卓藏君) サウスルト目的ヤ、ソレカラ原因ハシト云フ事柄ガ、分ラヌデモ善イデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デス

○(花井卓藏君) 第八十一條「會社カ合併ヲ爲シタルトキ」ト云フコトガゴザリマスルガ、此合併ヲナシタルトキト云フ所謂時期ハ、何時ニナルノデス○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ事實上ノ合併ヲ云フノデ、ソレデスカラ、即チ其會社ノ雙方ノ財產ヲ併セルト云フ場合ヲ云フノデアリマス

○(花井卓藏君) 百一條二十八條ノ規定ニ依リマシテ、既ニ保存ヲ要セザル帳簿信書ノ類ガアルノデアル、其帳簿信書ノ類モ、清算ノ當時現在スルモノト、此百一條ハ見テ居ルノデアリマスカ、又見テ居ルモノトスレバ、無論保存ト云フコトヲ要スル趣意デスカ、二十八條ト御對照ノ上御答辯ヲ請ヒタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 際チ御見解ノ通デス、現ニ此清算人ノ手ニアツタ帳簿ハ、縱令古イ帳簿デアツテモ、ソレハ矢張百一條ニ依クテ、保存シナケレバナラヌト云フ積リデアリマス

○(花井卓藏君) 唯今ノ矢張百一條ニ牽連シテ居ルノデゴザリマスルガ、質問ノ趣意ヲ説明致シマスル、能クドウカ此二百三十三條ト規定ヲ異ニ致シテ居ル點ノ、御説明ヲ請ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 此點ハ前回ニ略、他ノ政府委員カラ、説明致シタ皆デアリマシタガ、尙稍詳シク御話致シマスルト、百一條ノ場合ハ、元則ハ矢張二百三十三條ノ場合ト同ジク、清算決了ノ登記ヲ爲シタル後十年間ト

云フコトニナシテ居ルノデ、是ハ精算ト云フモノヲ致ス場合ニ於テハ、是至極良イノデアリマスケレドモ、第八十五條ノ場合ニ於テハ、精算ヲシナイデ、他ノ方法ヲ以テ會社ノ財產ヲ處分スルコトヲ認メテ居ル、其場合ニハ精算ノ決了ト云フガ如キ、ハシキリトシタ時期ト云フモノガナイノデ、多クハ解散スルト程ナク其處分ハシテシマフ、ソレデ場合ニハ據ロナク解散ノ登記ヲナシタル後ト云フコトニシマシタ、ソレダケガ違ヒマス

○(花井卓藏君) 百九條ノ第二項無限責任社員數人アル時ト云フ上ニ、會社ノ業務ヲ執行スルト云フ數文字ヲ加ヘナケレバ、此法文が解釋ガ出來ヌト思ヒマスガ、其邊ハドウデゴザイマス

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ其餘程他ノ規定ト牽連シテ御解釋ヲ願ヒタイ、成程此文字ダケ御覽ニナルト、御説ハ御尤モデアリマスガ、此無限責任社員ノ内デ、スナ、特ニ業務ヲ執行スベキ社員ヲ定メマシタ場合ニ於テハ、其時ハ第五十四條ノ適用カラ致シマシテ、民法ノ規定ニ據ルコトニナリマス、サウシマスルト云フト民法ニ於テハ、第六百七十條第二項ニ組合契約ヲ以テ業務ノ執行ヲ委任シタルモノ數人アル時ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決スト云フコトガアル、ソコデ其場合ニ於テハ、其方デ極リマスコトヲ定メマシタ場合ニハ無限責任ノ過半數ヲ以テ決セネバナラヌ、ソレデシテ合名會社ニ關スル規定ヲ準用致シマスルカラ、若シ此規定ガアリマセヌト、合名會社ノ方ノ規定ノ準用ニ差支ノデ、合名會社ノ準用デハ、ドウ云フコトニナルカト云フト、茲ニ又五十四條ノ適用デ、民法ノ組合ニ關スル規定、第六百七十條第一項ノ規定ガ籍ル、組合ノ業務執行ハ組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス、斯ウナシテ居ル、所ガ合資會社デハ、其社員ノ過半數ヲ以テ決シテハ往カナイ、其場合ニハ無限責任ノ過半數ヲ以テ決セネバナラヌ、ソレデ此規定ガ要ルノデアリマス

○委員長(大岡育造君) 是カラ株式會社ニ移リマス

○(花井卓藏君) 第百二十二條、斯ウ云フコトヲ御尋申シタイ、發起人以外ノ者ガ、金錢以外ノ財產ヲ出シテ株式ヲ受ケルコトガ出來マスカ、出來マセヌカ、若シ出來得ルト致シマスレバ、此百二十二條ノ四號トノ關係ハ、如何デアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 普通ノ場合ハ、實際發起人ガ金錢以外ノ財產ヲ以テ、出資ノ目的トナス場合ガ、無論多イノデアリマス、併ナガラ四號ニ付イテハ、特ニ三號ヤ或ハ第五號ノ如ク、發起人ト云フ文字ガ用井テナイノデ、無論發起人ニアラザル者ガ、金錢以外ノ財產ヲ以テ、出資ノ目的ト爲スト云フコトハアリ得ルノデアリマス、而シテ此場合ニハ、此特例ヲ設ケテアルカラ、無論此第百二十六條デスナ、御尋ハ

○(花井卓藏君) 百二十二條デアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 百二十二條第四號ダケニ附イテノ御尋デアレバ、無論ソレハ限ラヌノデアリマス

○(花井卓藏君) 百三十五條トノ關係ヲ御説明ヲ願ヒマス、矢張唯今ノコトニ牽連シテ

○政府委員(岡野敬次郎君) 株主ヲ募集スル場合、即チ發起人ガ株式總數ノ引受ヲシナイ場合ニ、必ズ此法律ニ定メテアル手續ヲ履マケレバナラヌノデアリマスカラ、無論創立總會ヲ開カナケレバナラヌ、而シテ第百三十五條ノ規定ヲ見ルト、第百二十二條ノ第三號乃至第五號ニ掲ゲタル事項ヲ不當ト認メタル時ハ之ヲ變更スルコトヲ得トアリマスカラ、例ヘバ發起人ニアラザルモノガ、俗ニ言ヘバ有價物ノ出費ヲ供シテ、ソレデ其有價物ノ價格ニ應ズル株式ヲ取得スル場合ニ、其價格ノ見積方ガ不當デアル、例ヘバ壹萬圓ノ實價シカナイモノヲ壹萬五千圓ニ見積ッテ、而シテ壹萬五千圓ニ相當スルノ株式ヲ與ヘタ云フヤウナコトハ、是ハ實價ハ壹萬圓シカナイノデアルカラ、之ニ對シテ壹萬五千圓ニ相當スル株式ヲ與ヘルト云譯ニ往カヌト云フコトヲ、第百三十五條ノ規定ニ依ツテ創立總會ガ規定スルコトガ出來ル、斯ウ云フ關係デアル

○(花井卓藏君) 百二十四條ニ付キマシテハ、近來幾ラモアル例デゴザイマスカラ、特ニ御説明ヲ請ヒマスガ、發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケタルモノト致シマシテ、本條ノ第一項ノ手續ヲシテ居ルノニモ拘ラズ、實際ニ於テハ未ダ引受ヲ致シテ居ナイ株式ガアツタ場合ニハ、如何ニ處分セラル、モノデアルカ、此ノ如キ場合ニハ、會社ヲ不成立ト御見做シニナルノデアラウカト云フコト、ソレカラ又モウ一ツハ、發起人ガ第一回ノ拂込ミヲ爲シタルモノトシテ、本條第一項ノ手續ヲ致シマシタルニ拘ラズ、實際ニ於テ全ク拂込ノナイ株式ガアツタ場合ハ、如何ニ御處分ニナルノデアリマセウカ、近頃類例ノアルコトデアリマスルカラシテ、其説明ヲ煩シマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 現行法ノ其下デ株式ヲ其廣ク募集セヌデ、ソレデ發起人ノ株式ノ總數ヲ引受ケテ社ヲ設立スルコトヲ得ルヤ否ヤト云フコトハ、隨分疑問デアラウト思フ、現行法ノ規定カラ云ウテ、果シテサウ云フ手續ノ設立ヲ認メテ居ルヤ否ヤト云フコトハ、誠ニ不明瞭デアラウト思フ、ソレデ恰モ花井君ノ今述ベラレタ即チ株式總數ノ引受ガアルカナイカ、又第一回ノ拂込ト云フモノガ、果シテ既ニ濟シテ居ルカドウカト云フヤウナコトヲ調査スルガタメニ、或ハ調査セシムルガタメニ、第百二十四條ノ規定ヲ置イタノデアル、デ事實ニ於テ第一回ノ拂込ガ終ツテ居ラヌトカ、或ハ其株式總數ノ引受ト云フモノガナイトカ云フヤウナコトデアレバ、詰リ其會社ハ成立シタガ、其御答辯デ宜シウゴザイマスカラ、今度百二十五條ニ付イテ御質問致シマス、本條ノ意義ハ頗ル解釋ニ苦シム點ガアル、即チ發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケザルトキト云フ事柄ガ書イテアル、此法文ノ通りニシテ見ルト云

フト、發起人ニシテ全ク株式ヲ引受ケザルモノ、アルト云フ事柄ヲ御認メニナツテ居ルガ如クニ讀メルノデアリマスガ、左様ナ御趣意デアリマスカ、若シ左様ナ御趣意ト致シマスレバ、隨分不都合ナ規定ト私ハ考ヘマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 此修正案ノ方ハ、發起人ガマルシキリ其株ヲ引受ケナイデ、サウシテ其唯株主募集ノ方法ニ依ツテ、其會社ヲ設立スルト云フコトハ認メテナインデアル、ソレハ例ヘバ第百二十六條ノ第二項即チ株式申込證ニ掲ゲタル所ノ事項中ニ各發起人ノ引受ケタル株式ノ數ト云フモノヲ是非書カネバナラヌ、之ヲ書カナイトキニハ、詰リ株式申込證ト云フモノガ、詰リ無效ノモノニナル、故ニ此規定カラ見テモ、發起人ガ一ツモ此株ヲ引受ケナイノデ、サウシテ其株主ヲ募集スルト云フコトハ出來ナイ譯デアル、デ第百二十五條ノ株式ノ總數ヲ引受ケザルトキハト云フ文字ニ用井タノハ、第百二十三條ニ對シテ用井タ積リデ、デ發起人ガ株式總數ヲ引受ケタ場合ニハ、手續ハ第百二十三條ト第百二十四條ノ規定デ、モウ結了シテシマウノデアル、各發起人ガ之ニ反シテ株式ノ全體ヲ引受ケナイト云フ場合ニハ、其自己——我引受ケナイ所ノ株式ニ付イテ、株主ヲ募集セネバナラヌ、株主募集ノ方法ニ依ルトキト云フノデ、二ツヲハッキリ區別シタ積リデアルキヲ行ハネバナラヌト云フノデ、二ツヲハッキリ區別シタ積リデアル

○(花井卓藏君) 百三十五條ニ付イテ御尋ヲ致シタインデ、御尋ヲ致ル點ハ一ツアルノデスガ、第一ハ金錢以外ノ財產ニ對シテ與ヘマスル株式ノ數ヲ減少致シマシタル場合ニハ、其他ノ株式ニ付イテハ、引取人ハ其義務ヲ免ル、モノデアリマスカ、或ハ又當初引受ケタル株式ニ附イテハ、幾何ナル事情ガアツテモ、義務ヲ負ハネバナラナイ筋合ノモノデアリマスカ、若シ其趣意ニシテ、引受人ハ義務ヲ免ル、コトノ出來ルモノナリトセバ、結局減少シタル數ノ株式ト云フモノ、處分ハ、ドウ云フ風ニナルノデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 有價物ノ其價格ガ減少セラレテ、不當ニ超過シテアルガタメニ、之ヲ先づ相當ト認メルマデノ價格ニ引戻スト云フ場合ハ、其引戻サレタ價格ニ相當スルノ株式丈シカ與ヘラレナインデアリマスカラ、無論株式ガ數ガ減ズル、數ガ減ズルノハ不當ニ見積ッタ價格丈減ズル、而シテ其有價物ノ出資ヲ供スルコトヲ契約シタ人間ハ、無論其有價物ノ價格ト云フモノニ重キヲ置イテ、ソレニ依ツテ株式ヲ引受ケヤウト云フ場合デアル、ソレデアルカラシテ、若シ其價格ガ不當デアルト認メテ減ゼラレテモ、尙ホ其餘ノ分ハ株式ヲ必ズ其人間ガ引受ケネバナラヌト云フコトハ、其出資ヲ供シタガ、其御答辯デ宜シウゴザイマスカラ、無論後ノ分ニ付イテハ義務ヲノデアリマスカラシテ、發起人ガ連帶シテ其株式ヲ引受ケネバナラヌト云フ結果ニナル

○(望月長夫君) チヨツト此百三十八條デ御尋ヲ致シマスガ、設立ノ廢止ト

云フ無論創立總會ヲ開イタ場合デアリマスカラ、既ニモウ四分ノ一ノ拂込ニナツタ場合ト思ヒマスガ、併シ設立ノ廢止ハ解散デハナイノデアリマスガ、サウシテ見ルト此設立ノ廢止ヲシマシタ場合ニハ、發起人何カノ責任トカ此拂込ンダ金ノ拂戻シトカ、サウ云フヤウナ始末ハ、ドウシテ附ケル御考ニナツテ居ルカ、元トハ色ミ責任ヤ何カ極メ所ガアルヤウデスガ、今度ハ全クナイヤウデスガ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此第百三十八條ノ規定ニ依テ設立ヲ廢止シタト云フ場合ハ、マダ其設立セラレテ居ラナイ會社デアルノデスカラ、即チ設立ヲ見合セルト云フコトニナル、第百三十九條ノ規定ニ依シテ發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケザリシトキハ、會社ハ創立會社ノ終結ニ依リ成立スル、其創立總會ノ普通ノ終結ト云フコトノナイ前デアルカラシテ、即チマダ會社ト云フモノヲ本當ニ設立シテ居ラナイ會社デアルガ故ニ、マダ解散ト云フコトモ云ヘナイカラ、清算ノ規定モ無論嵌ラナイコトニナル、其會社ガ設立セラレナイ前ノ狀況ヲ見マスルト云フト、會社ト云フ法人ガナイノデアルカラ、株式引受株式申込ニ付イテハ、發起人ト、ソレカラ株主募集ニ應ジタルモノトノ間ノ法律關係ニ過ギナイ、其間ニ成立スル所ノ法律關係ト云フモノハ、或ハ契約關係ト見ル八モアリマセウシ、又一種ノ特別ノ法律關係デアルト云フヤウニ解釋スル人モアリマセウガ、免ニ角會社設立ノ前デアルカラ、株主ト發起人トノ間ニ於ケル關係シカ見ラレナリ、故ニ發起人ガ會社ノ設立ノタメニ費用ヲ出し、或ハ第三者ニ對シテ債務ヲ負擔シ、或ハ第三者ニ損害ノ賠償ヲシタ場合ニハ、悉ク發起人ノ責任ニ歸スルノデ、若シ株主カラ拂込デモ受ケテ居シタ場合ニハ、發起人ガ自分ノ懷カラ全額ヲ拂ハナケレバナラヌ結果ニナル、恰モ現行法ニ於テ創立總會ノ承認ヲ經ザル失費ニ付イテハ、發起人ガシタ後ニ於テ解散シタ場合ニ如何スペキカト云フ問題ガ殘ルカモ知レヌ、併シ今ノ御尋ノ御質問ニ付イテ御答スレバ、詰リ發起人ト、ソレカラ株主ノ募集ニ應ジタルモノトノ間ノ法律關係シカ成立テ居ラヌノデス、ソレデ其法律關係ノ法律上ノ解釋ニ付イテ、人ニ依シテ說ヲ異ニスルカ知ラヌガ、其結果ニ至シテハ變リハナイ

○(望月長夫君) 要スルニ一般ノ法律ニ任セルト云フコトニナリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) サウデス

○(花井卓藏君) 百四十一條 株式引受人ハ詐欺又ハ強迫ニヨリテ其申込ヲ取消スコトヲ得ス」トアル、無能力者ヲ理由トスル取消ニ付イテハ、何等ノ規定モナイヤウデアリマスガ、本條ハ勿論其適用ニハ相成ラヌト思ヒマスガ、果シテ然リト致シマスレバ、無能力ト詐欺強迫トノ間ニ何故斯ノ如キ大ナル差異ヲ御設ケニナツタノデゴザイマスカ、御尋ヲ致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) 此無能力者ト云フモノハ、法律ガ特ニ保護スル必要アリト認メテ、サウシテ其民法上ニ於テモ殆ド絕對ニ保護シテ居ル、例ヘバ無能力者ガナシタル契約ノ結果デ、無能力者ガ金ヲ受取シテ無駄ニ使ツテ返サヌデモ、法律ハ保護ヲ設ケテ居ル、ソレ故ニ百四十三條ヲ議スルニ當リマシテ、吾ミ考ヘルニ、之ヲ無能力ヘ入レルト云フト、其點ニ於テ無能力者ノ保護ヲ廢スルコトニナル、ソレヲ許サヌデモ、エライ困ルコトガアルカト云フト困ルコトハ起ラヌ、ソレハ百三十六條ニ依リテ取消シ、始メカラ引受人ガナカツタキト同ジニナリマスカラ、發起人ガ引受ケテ會社ニハ損ヲ掛けナイ、發起人丈意外ノ迷惑ヲ被ムルニ過ギナイ、ソレダケノヨトハアツテ宜カラウ、詐偽強迫ト云フコトモ事重キガヤウデアリマスガ純然タル詐欺デアルカ、強迫デアルカ、ソレトモ多少好イ加減ノコトヲ言シタ所ガ、法律上詐欺ト云フ程ノモノハナイ、多少無理ニ頼ンダト云フ事ガアツテモ、強迫ニハナラナイガ、時ヲ經テ見マスルト餘程分リ惡イ事實デアル、夫故ニ是等ノモノハ會社設立ノ時マデ濟ンダアトテ取消スコトハナカラウ、縱シ登記成立ノ後ハ、取消スコトハ出來ナイト致シマシタ

○政府委員(岡野敬次郎君) 尚ホ附加ヘテ置キマスガ、申込ヲシタトキカラ登記ヲ爲スマデノ時期ニ於テ隔リガアル、ソレデ先づ申込ヲスル株式ノ引受ガ確定スル所デ、第一回ノ拂込ヲスル、ソレカラ詰リ創立總會ヲ開クト云フマデノ手續ヲスル、其中ニ或ハ詐偽ナリ或ハ強迫ナリニ依シテ申込ンダト云フヤウナ者ハ、十分其時期ノ間ニ於テ申込ヲ取消スコトガ出來ル權能ヲ持シタ場合ニハ、悉ク發起人ノ責任ニ歸スルノデ、若シ株主カラ拂込デモ受ケテ居シタ場合ニハ、發起人ガ自分ノ懷カラ全額ヲ拂ハナケレバナラヌ結果ニナル、恰モ現行法ニ於テ創立總會ノ承認ヲ經ザル失費ニ付イテハ、發起人ガシタ後ニ於テ解散シタ場合ニ如何スペキカト云フ問題ガ殘ルカモ知レヌ、併シ今ノ御尋ノ御質問ニ付イテ御答スレバ、詰リ發起人ト、ソレカラ株主スウ云フ規定ヲ設ケタノデアリマス

○委員長(大岡育造君) チヨヅト御相談ヲ致シマス、今既ニ五時ニナリマシタガ、諸君ガ御勉強ニナリマスルナラバ、モウ一時間ヤリマセウカ、或ハ茲デ止メテ置キマセウカ

〔トウデモ宜イ〕ト呼フモノアリ「ヤツテシマヒマセウ」ト呼フモアリ

○(花井卓藏君) 第百四十四條ニ付イテ御尋ヲ致シマスルガ、本條ノ第一項ノ規定ト云フモノハ、會社ニ對スル株主ノ責任ヲ定メラレタ所ノ規定デアルト思ハレル、果シテ然リト致シマスレバ、額面以上ニテ株式ヲ發行シタ場合ニ株主ト云フモノハ、株式ノ全額ノミニ付イテ、責任ヲ負ヒマシテ、額面ヲ超エル金額ニ付イテハ、責任ヲ負ハヌト云フ立法ノ精神デアルヤ否ヤ、第二

ニ本條ノ第二項ハ、株金ノ拂込ト云フ事柄ニナツテ居リマス、此株金ノ拂込ト云フコト以テ額面ヲ超ユル金額ノ拂込ハ、勿論適用ガ出来ヌト思ハレル、

サウスルト第二項ハ不都合ナ規定デナイカト思ヒマス、以上兩點ニ付イテ説

明ヲ乞ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 此第百四十四條ノ規定ハ、既ニ會社成立ノ後、此株主ノ責任如何ヲ定メタモノデ、會社成立ノ後ニアラサレバ、株主ノ責任株主ハ云々ト云ヘナイ、ソレハ株式申込人若クハ引受人デアル、第百二十九條第二項「額面以上ノ價格ヲ以テ株式ヲ發行シタルトキハ其額面ヲ超ユル金額ハ第一回ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込マシムルコトヲ要ス」トアリマスカラ、是ハ必ズ會社成立前ニ全額ヲ拂込ンデ居リマス、ソレデ唯今ノヤウナコトハイ

ラスト考ヘテ居リマス

○(花井卓藏君) 百四十五條ニ付イテ御尋ネ申シタイ、茲ニ「株式ノ金額ハ五

拾圓ヲ下ルコトヲ得ズ、中略之ヲ貳拾圓迄ニ下スコトヲ得」ト斯ウ云フ事

柄ガ書イテアリマス、此百四十五條ハ、舊株新株ト云フ場合ニ於テハ、隨分困

ルコトガ生スルダラウト思ヒマス、ソレ故ニ御尋ヲスルノデアリマスガ、御

尋ノ主意ハ設立ノ當時一時ニ株金ノ全額ヲ拂込ミマシタルガタメニ、之ヲ貳

拾圓トシタ、然ルニ此新株發行ノ際ニ於テ、株金ヲ數回ニ分割シテ拂込マ

ウツル場合ガアラウト思フノデアリマス、是ハ此法文ノ上ニ於テ出來ルベ

キモノデアルカ、出來ヌベキモノデアリマスカ、若シ出來ルトスルト、新株

モ貳拾圓トスルコトガ出來マスカ、或ハ舊株ト同ジク五拾圓トセンケレバナ

ラヌノデアリマスカ、是ハ私ガ株式ノ金額ガ貳拾圓ニ下ルコトヲ得ズト云フ

ガ如クニ修正ヲシタイ事柄ヲ現在ノ商業會社ノ事情等ニ就イテ考ヘテ居

ルノデアリマスカラ、問フノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 此株式ノ金額ヲ原則ヲ五十圓ト定メタト云フノ

ハ、是ハ其株式ノ金額ガ餘り小サクアルト云フト様ニノ弊害ガ起ルト云フノ

デ、五十圓ト云フコトヲ原則ニ取ッタノデスガ、又何故ニ貳拾圓ニ下スコトガ

出來ルコトヲ認メタカト云フト、現行法ト同ジャウニ修正案ニ於テモ第一回

ノ拂込ハ、四分ノ一デ宜シイト云フコトニナツテ居ル、所デ餘り株式ノ金額ガ

少ナイト、其四分ノ一ダケノ拂込ヲシテ、サウシテ僅カバカリノ拂込ニ終ル

ノデアリマス、然シテ權利株ノ賣買ノ如キ、實際ニ會社ノ事業ニ餘リ熱心デ

ナイニ拘ハラズ、多數ノ株ヲ申込ンデ、サウシテ其間ニ儲ケヤウト云フコト

ガ隨分アル、ソレデ將來ニアツテハ、成ルベク此會社ノ事業ト云フモノト、

株主ノ其事業ニ於ケル思想ト云フモノトヲ成ルベク密着セシメヤウト云フノ

デ、株式ノ金額ヲ大キクシタノデアリマスケレドモ、一時ニ株金ノ全額ヲ拂

込ムベキ場合ニ方ツテハ、サウ云フ今申スヤウナ弊害ハナイノデアリマス、

ソレデ特ニ貳拾圓マデ下ゲテモ宜シイ、即チ五拾圓ノ四分ノ一ハ、拾貳圓五

拾錢、其拾貳圓五拾錢ヨリモット餘計ノ金額ヲ一時ニ拂フノデアルカラ、無

益ナ——無益ト云フノハ穩カデナイカ知ラヌガ、投機心ノタメニ株式ノ申込

ヲナスマモノヲ幾分カ防ダコトガ出來ルデアラウト云フノデ、貳拾圓ト云フコ

トヲ置イタノデアリマス

カラ申シタヤウナ弊害ハ、多クノ場合ニ於テナクテ成立シナイ、新株發行ノ

場合ニ於テハ、必ズ一時ニ拂込マナクチヤナラヌノデハナイ

○(望月長夫君) 百四十八條ニ付イテ質問致シマス、此百四十八條ニ依ルト

此株券ヲ絶對ニ株主ノ氏名ハ要ラナイト云フコトニ見ヘエマスガ、株券ハ百

四十七條ニ依レバ、四分ノ一ノ拂込ガアツタ後、則チ登記ヲ爲シタ後ハ、發行

ガ出來ル、サスウルト此法律ノ精神ハ四分ノ一ノ拂込ガアツテ、株券ヲ發行ス

ルコトノ出來ル場合ニハ、全額ノ拂込ノナイ中デモ、無記名式デ發行ガ出來ル

ト云フ精神デアリマセウカ、是ガ百五十五條ヲ見ルト、單ニ從來記名式デアッ

タモノヲ無記名式ニスル場合ニハ、株金全額ノ拂込ヲ要ストアルカラ、ソ

トキデモ宜シイカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ御引用ニナツタ百五十五條ノ規定ニ於テ

「株金全額ノ拂込アリタルトキハ株券ハ其株券ヲ無記名式ト爲スコトヲ請求

スルコトヲ得」ト云フノデ、無記名式ノ株券ヲ發行スルニハ、必ズ株金全額

ノ拂込ト云フコトガアツタ後デナケレバ、ナラナイ、ソコデナゼ百四十八條ニ株

主ノ氏名ヲ書カナカツタカト云フニ、此百四十八條ノ規定ハ廣ク株券ニ嵌ルノ

デ、無記名式ノモノニモ記名式ノモノニモ是丈ノコトヲ書カナケレバナ

ラナイカラ、ソレデ特ニ百四十八條ニハ株主ノ氏名ヲ書カナケレバナラヌト

云フコトヲ書カナカツタノデアリマス、併ナガラ百五十條百五十五條、此二

ツノ規定ヲ參照スレバ、自カラ記名式ノ株ガアル、ソレガ原則デアルト云フ

テモ宜シイ、全額ノ拂込ノアツタ後ハ、無記名式ニナスコトヲ得ルト云フコ

トデアリマスカラ、拂込ガ濟ンダ後ニ無記名式ノ株ヲ發行スルコトガ出來ル

ト云フコトニナル

○(望月長夫君) 私ハ其疑ヲ持ッタノデス、全額ヲ拂込マヌ先キニ無記名式

ノ株ヲ發行スルコトガ出來ルトスルト、甚ダ危險デアルト思ッタガ、百五十

五條ノ規定ハ、株主ガ請求スルコトヲ得ルト云フノデ、株主ノ希望ヲ以テ請

求スル場合ニハ、會社自身デナク、株主カラ要求スルトキニハ、斯ウダト云

フ規定シカ見エナイ、會社自身ガ無記名式ノ株券ヲ發行スル場合ニ特別

府委員ノ言ハレル如キニハ、此文章デハ讀メヌト思フ、一面ニハ會社ノ方ハ

規定トシテハ、百四十七條ニ依ッテ、百四十七條ノ條件ヲ備ヘテ發行スル、

百四十八條ノ株券ハ絶對ニ株主ノ氏名ハ書カナクテモ宜イト、斯ウ見ル、百

四十八條ノ所ニハ、決シテ百四十七條ノ四分ノ一ノ拂込シカナイ場合ニ特別

ノモノトハ見エナイ、百五十五條ノ規定ガ單ニ株主ノ方カラ請求スル場合ダ

ケニシカ當ラヌコトニナルト云フ文章ニナツテ居ル、サウスルト會社自身ガ

發行スル場合ニデモ、矢張株主ノ要求ヲ待タズシテ會社ノ定款ヲ極メルコト

ハ、會社デ發行スル場合ニデモ矢張此百五十五條ノ通リデナケレバナラヌノ

ダト云フ文章ニ、ドノ條ヲ參照スルト讀メルノデアリマスカ、是ハ餘程疑デアリマス

○政府委員(田部芳君) 唯今ノ御疑ハ、或ハ此株式ノ所丈ノ箇條カラ見ルト、一應御尤デスガ、此款ノ二百六十一條ノ第五號ニ此會社ノ役員ニ付キマシテ、制裁ガ設ケテアリマス、是カラ參照致シマスト、啻ニ株主ノ請求が出來ナイノミナラズ、全額拂込前ニ會社ノ方カラモ無記名式ヲ發行シテ、往カヌト云

フコトガ分ルノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) ナゼソソナラ百四十八條ニ株主ノ氏名ト云フコトヲ書カナカラカト云ヘバ、茲ニ掲ゲタモノガ、一ツデモ缺ケルト、株券デナイト云フコトニナルカラ、苟モ無記名式ヲ認メルカラハ、百四十八條ニハ

株主ノ氏名ト云フコトハ、掲ゲヌノデアリマス

○(望月長夫君) 私ノ疑ハ田部政府委員ノ御述ベニナツタ二百六十五條ノ第五項ヲ參照シテ居ル二百六十五條ノ第五項ハ、單純デ百五十五條ノ一項ニ違

五項ヲ參照シテ居ル二百六十五條ノ第五項デ

(望月長夫君) 私ノ疑ハ田部政府委員ノ御述ベニナツタ二百六十五條ノ第五項ヲ參照シテ居ル二百六十五條ノ第五項ハ、單純デ百五十五條ノ一項ニ違

五項ヲ參照シテ居ル二百六十五條ノ第五項デ

記名式ニシタキノ外ハ、會社自身ガ發行シタ場合ヲ二百六十一條ノ五項デ

制裁スルコトハ出來ヌト思フ、ソレデ私ノ考ヘデハ、此百四十八條ノ所ヘ持フテ往クテ、株式ノ全額ノ拂込アルマデハ、無記名式ニ出來ヌコトノ一項ヲ加

ヘテ置ケバ、法文ガ極メテ明瞭ニナリハセヌカト思フノデ、百五十五條ト二百六十二條トデ覺レバ宜イト云フノハ、少シ無理デハナイカト思フ、ソレカラ

株主カラ請求シテ來タ場合デナク、會社自身デ發行シタキニ、二百六十

二條ノ五項ガ効カナイト、何デ制裁スルト、餘程不明瞭デハナイカ

○政府委員(梅謙次郎君) 百五十五條ノ請求ニ依シテ發行スルトキ丈ハ、株券全額ノ拂込ガ必要デアルト云フト疑ハ尤デアルガ、百五十五條ニ株券全額

ノ拂込ノアルトキハ、斯ウナルトアルカラ、其裏カラ外ノ場合ニハ請求ガ出來ヌ、無記名式ニハナスコトガ出來ルト解スルノガ、穩當デハナイカト思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) 二百六十二條ノ第五項ヲ若シ御解釋ノ通りニ百五十五條ノ一項ノ規定ニ反シテ株主ノ請求ガアツテ、サウシテ株券ヲ無記名式

ニシタキ……

○(望月長夫君) チヨット——速記ハ止メテ下サイ

(此間速記ヲ中止ス)

○(花井卓藏君) 第百四十九條ニ付イテ二ツ御尋ネシタイ、第一ニハ定款ヲ以テ完ク株式ノ讓渡ヲ禁ズルコトが出來マスカ、ソレカラ第二ニハ競賣

○政府委員(梅謙次郎君) 第一ノ點ハ勿論出來マス積リデアリマス、第二ノ御尋ハ競賣ガ法律ノ規定ニ依シテナサル、場合ナラバ、勿論含マヌ、是ハ外ノ法文デモサウ云フコトニナルノデアリマス

○(花井卓藏君) サウスルト絕對競賣ニ依ル移轉ノ場合ハ、商法ノ上デハドウ云フ具合ニ始末ヲ附ケマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 株主名簿ニ記載スルコトニナル、株主名簿ノ規定カラ當然分ルト思ヒマス

○(花井卓藏君) 株主名簿ノ規定カラ當然分ラヌガ、ドウ云フ譯デ分ルカ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 此民事訴訟法ノ規定ハ、法典ノ修正ニ伴ウテ修正セラル、コトニナツテ居ル、未ダ其修正ハ出來上リマセヌデ、其修正ノ出來マスマデ多少不明ノコトハアラウト思ヒマス、民事訴訟法五百八十二條ニ依

レバ「有價證券ノ記名ナルトキハ施行裁判所ハ買主ノ氏名ニ書換ヲナサシメ及ヒ之カ爲メ必要ナル陳述ヲ債務者ニ代リ爲ス權ヲ執達吏ニ與ヘルコトヲ得」トアリマス、ソレデ私ガ株主名簿ニ關スル規定カラ、自カラ分ルト云フコトヲ申シタノハ、取締役ハ株主名簿ニ株主ノ氏名ヲ書キ、株主ノ代シタトキニハ、變更シタモノヲ書クコトガ原則ニナツテ居ルノデ、詰リ今ノヤウナ

規定ト相牽聯シテ見ルト分ルト思ヒマス

○(花井卓藏君) チヨット速記ハ止メテ下サイ

(此間速記ヲ中止ス)

○(花井卓藏君) 百五十三條第二項デスナ、此本條ノ第二項ノ規定ニ依リマシテ、株式ヲ取得シタル讓渡人ガ、怠納處分ヲ受ケタル株主カラシテ、株式ヲ讓受ケタルモノト見ル、此法文ノ趣意デアリマスカ、其會社ヨリデスナ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ詰リ其權利ヲ失ウタ株主ノ承權人トナルコトニナリマヤウ

○(花井卓藏君) サウ見ルノデスナ

○政府委員(梅謙次郎君) 會社ガ一旦株主ニナツテ、ソレカラ讓渡人ガ其權利ヲ承繼グコトニナリマス

○(花井卓藏君) 矢張同條デアリマスガ、株主或ハ讓渡人ト云フモノハ、怠納金額ノ一部ト云フモノヲ拂込ムコトガ出來ルノデアリマセウカ、若シ出來ルモノトスレバ、其結果ハドウ云フ具合ニナルノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 一部ヲ拂込ムト申スト……

○(花井卓藏君) 息納金額ノ一部丈ヲ拂込ムコトガ出來ルカドウカ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ一部ヲ拂渡シマシテモ、百五十三條第三項ニ謂フ所ノ拂込ヲ爲シタ云フ中ニハ這入ラナイ、ソレデスカラ矢張會社ガ

株式ヲ競賣スルコトガ出來マスカラ、詰リ出來ヌト云フコトニ歸着致シマス

○(花井卓藏君) モウ一つ御尋シマスガ、株主ノ怠納者或ハ讓渡人ノ債務者ノデセウカ、此法文ノ上ニ於テ……

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ無論出來マス積リデ、拂込ミヲナスト云フコトハ、民法デ言フト、矢張一ノ辨濟ニ過ギヌノデ、ソレデスカラ辨濟ハ、民法ノ規定ニ代シテナスト云フコトガ出來ル

○(花井卓藏君) サウ致シマスルト云フト、第二項ニ規定シテアル競賣モ、

尙ほ出來ル譯デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 競賣ハ會社ノ方デ致スノデスガ、ドウ云フ御問デ

云フモノガ株主竝ニ讓渡人ニ對シテ、會社ノ有セシ一切ノ權利ヲ行フベキ權利ガナクテハナラヌノデアル、若シサウ云フ論結ニナルト云フト、三項ニ定メテアル競賣者モ矢張……

○政府委員(梅謙次郎君) 唯今會社ノ債權者ハ會社ニ代^{シテ}、競賣ヲ爲スコトヲ得ルヤ否ヤト云フ問題デアルト思フ、ソレハ其民法ニ謂フ所ノ、一般ニ學者ヲ謂フ間接訴權即チ四百二十三條ニ規定スル所ノ此權利ヲ代^{シテ}行フ場合デスナ、此場合ニ實際這入ルマイト思フノデ、債權者ハ自己ノ債權ヲ保存スルタメニ、其債務者ニ屬スル權利ヲ行フコトヲ得、今ノヤウナ場合ハ、ドウモ四百二十三條ノ適用トハ見ラレヌデアラウト存ジマスノミナラズ、此會社ガ株金ノ拂込ヲ請求致シマスル場合ニ付イテ、會社ノ働くコトガ極メタルト同時ニ、會社ガ辨濟ガ出來ナイ場合ハ、概算及清算ニ關スル精密ノ規定ガアリマスカラ、ドウモ此四百二十三條ニ依^{シテ}、斯ノ如キ權利マデモ行フコトヲ得ルカト云フコトハ、實際私共ナカラウト考ヘマス

○(花井卓藏君) 百五十八條ニ書イテゴザイマス書類ト云フ字デス、此書類ト云フノハ、ドウ云フ書類デスカ、百九十條ニ掲ゲタ書類ナンデスカ、或ハ又特ニ何カ外ノ場合ニ規定セラレテアル所ノ書類ト云フ意味デスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第百九十九條ニ付イテ御尋ニシタイ、百七十二條ノ五號ニ無記名式ノ株券ヲ發行シタルトキハ、其數番號及ヒ發行ノ年月日ト云フモノヲ記載スルコトヲ要スト、掲ゲラレテアル、株主名簿ニ記載スルコトヲ要スト

掲ゲラレテアルノデゴザイマス、ソレカラ債券發行ノ年月日ト云フモノモ、之ヲ社債原簿ニ記載スルト云フコトニナシテ居ルノデゴザイマス、ソレニモ拘ハラズ記名株券ノ發行ノ年月日ト云フモノハ、株主名簿ニモ記載スルコトヲ要セズ、社債原簿ノ方ニモ記載スルコトヲ要セズト云フ趣意ニナルト、記名無記名ニ依^{シテ}、大變ナ相違ガアルヤウニ思ハレマスガ、其關係ハ如何デスカ、唯今ノ問ハ百七十二條ト百七十三條ニ牽聯ヲ致シ居リマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 特ニ是ハ理由デアルト云^{シテ}立派ナモノハナイノデアリマスガ、併ナガラ此株券ノ方デアルト、百四十八條即チ普通ノ株券デアルト云フト、百四十一條第一項ノ規定ガアリマスカラ、株券ニ其事ヲ書カネバナラヌ、所ガ無記名式ノ株券デアルト、時期ガ違フノデ、何時發行ガ出來ルカト云フト、第百五十五條ノ規定ニ依^{シテ}、株券全額ノ拂込デナケレバ、無記名式ノ株券ヲ發行スルコトガ出來ナイカラ、即チ第百七十二條ニ於テ發行ノ年月ト云フモノト、株券全額ノ拂込トノ關係ガ如何ニナシテ居ルカト云フコトヲ見ルノ考デ、而シテ是ニ付イテハ、裏ニ罰則ニ記載スル事項或ハ……

(低聲ニシテ聽取スル能ハス) サウ云フ關係ニナシテ居リマス
○(花井卓藏君) 唯今ノ點ヲ——百七十二條ノ株主名簿百七十三條ノ社債原簿ニ記載スルト云フ事柄ニハ、御同意ニハナラヌデセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 社債原簿ニ何ヲ記載スルノデスカ
テ、號ハ何處デモ宜シイガ、株券發行ノ年月日ト云フヤウナ具合ニ一ツ書イテ置イタ方ガ、權衡ガ能ク取レテ宜イダラウト思ヒマスガ……

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ成程体裁ノ上ニ於テハ、サウシマシタラ宜シヤウデアリマスケレドモ、株主名簿ノ方ニハ、各株ニ付テ拂込ミタル拂込年月日ト云フモノガゴザイマシテ、ソレデ其四分ノ一ノ拂込ノアシタトキハ分ルヤウニナシテ居ル、ソレカラ登記ノ日ト云フモノハ、是ハ無論岡野委員カラモ申シタ通り分^シテ居ル、サウンテ見ルト尙ホ其上ニ發行ノ日マデ書カナケレバナラヌ、ソレヲ書カヌケレバ罰則ニ照ス、若シ一日間違^シテ居^シテモ、罰則ニ照スト云フ程ノ制裁ヲ附シタル規定ヲ設ケル必要ガナリ、一体法律ノ精神ハ是非ナケレバナラヌ事柄ダケハ規定シテ、ソレカラ先キハ便宜ニ任カセルト云フノデアリマスカラ、少シモ必要ノナイコトデ、無暗ニ手數ヲ煩ハスコトノナイヤウニシタイト云フ精神カラ、特ニ此日附ト云フモノヲ省イタノデゴザイマス、今岡野委員カラ申上ゲタ通り少シク第五號トハ違フノデ……
○(花井卓藏君) 百七十五條デス、株主總會ノ認許トゴザイマスガ、此認許ト云フ事柄ガ、又先刻問題ニナシタ同意承諾一致ト云フ事柄ト、更ニ選ブ所ガナイト思フ、又認許ト云フヤウナ文字ガアルガ、此文ハ又矢張遣方ガ違フノデスカ、遣ヒ分ケガアルノデスカ
○政府委員(梅謙次郎君) 株主總會ニ許シタノハ、認許ト云フ字ヲ遺フト云フコトニ唯致シタノデゴザイマシテ、別ニ深イ意味ハゴザイマセヌ
○(花井卓藏君) 百七十七條デスガ、此法文ハ取締役ノ一人ガ法令ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキ、又ハ定款ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ、其他ノ取締役モ此法文ニ依^{シテ}責任ヲ負フ譯デスカ
○政府委員(梅謙次郎君) サウデハナイ、其者ガ取扱ノ上決行スルニハ、一人ガ決行シテモ相談ノ上デヤシタコトナラバ格別、然ラズシバ其事ニ當^シタ者丈ガ、責任ヲ負ブト云フコトニナルノデス
○(花井卓藏君) 百八十五條、是ハ質問デアリマスルケレドモ、私ノ修正シタイト思フ通りノ文字ヲ讀ンデ見マス、ソレヲ質問ニ代ヘマス「會社ト取締役ト利害相反スル事項ニ付イテハ各監査役會社ヲ代表シ」ト、斯ウ改メタ方ガ宜カラウト思ハレル、原案ノ如キデハ頗ルドウモ狹キニ失シテ居ルデアラウト思ヒマスシ、實際ノ取扱ノ上ニ於テモ困ル場合ガ多イダラウト思フノデスノデ、ソレデ今ノヤウニ此箇條ヲ廣クスル必要ハナカラウト思ヒマス

○(花井卓藏君) ソレハ關係ナイデハアリマセヌカ
○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ即チ取締役ガ自己ノ利益ニ關スルコトガアッテ、自己ノ財産ニ付イテ何ノ某ト云フ資格ヲ持ッテ、ソレガ其會社ト取引ヲスル、又ハ其者ガ或者ヲ代表シテ、會社ト取引ヲスルト云フ場合ニハ、監査役ノ承認ヲ得ナケレバナラスト云フ規定ガアル、サウ云フ場合ハ、今仰セノ通り最モ利害ノ反スル場合デアリマスガ、其代表ニ監査役ヲシテ會社ヲ代表セシメナクテモ宜カラウト云フ考デアリマス

○(花井卓藏君) 尚ホ此百八十五條ニ附イテ御尋ネヲスルノデスガ、總會又ハ株主カラ指定セラレタ所ノ代表者ト云フ者ガ、法定ノ代理人ト見ルノデスカ、或ハ訴訟ノ代理人ト見ノデスカ、竝ニ其權限ハドウ云フノデセウ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ百八十五條ノ一体ダケニ付イテ會社ヲ代表セシムルノデアリマスカラ、ソレダケノ點ニ附イテハ、尤モ法定代理人デハアル、又訴訟上ノ代理人デアル、サウシテ其權限ハ茲ニ許シテアルダケニ附イテシカ持タナイ

○(花井卓藏君) 此第一項ノ但書ニ附イテ、御尋ヲ致シマスガ、代表者指定ノコト、云フモノハ、株主ニハナインデスカ、株主個人トシテニハナインデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 其通り

○(花井卓藏君) 若シアツタラ、ソレハ無効ニナルト云フ譯デスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 此會社ノ勤キデスナ、ソレヲ株主ノ或者ガナスト云フコトハ、法律ガ認メナイ、ソレデソレハ必ズ株主總會ト云フモノガ、是ハ言ハミ法人ノ意思ヲ代表スルト云ツテモ宜シイノデ、此方ハ會社ト云フ勤キニ附イテ、種々決議ヲナスコトが出來ルノデス、此或株主ト云フ者ハ、例ヘバ百八十五條ノ二項ノ場合ノ如キハ、特ニサウ云フ權利ヲ與ヘル、サウ云フ特別ノ明文ノアル場合ノ外ハ、出來ヌト云フ譯デス

○(花井卓藏君) 百九十一條デモ、第一項デアリマスルガ、取締役ハ定期總會ノ會日前ニ前條ニ掲ゲタル書類云々ヲ備フルコトヲ要スト、斯ウ書イテアルノデゴザイマスガ、其期間ノ規定ト云フモノガナイヤウデアリマスガ、ソレハ無制限ニ—無制限ニ備フルコトヲ要スルト云フ趣意ナンデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ法典調査會等ニ於テモ期限ヲ設ケヤウカト云フ考モアツタノデス、併ナガラ段々實際ノ取扱ノ有様ナドヲ調査シテ見マスルノニ、是ニ一定ノ期限ヲ定メテ置イテハ、是非ニ取扱ニ困ル場合ガ實際ニ多イト云フコトヲ發見致シマシテ、既三百九十一條ニハ期間ヲ設ケズシテ、單ニ會日前トシテアル、第百九十條ノ方ニ於キマシテハ、一週間ト云フ期間ニナッテ居ル、是ハ現行法ニ於テモ必要デアルト認メテ掲ゲテアル

○(花井卓藏君) 第百九十四條デアリマスガ、額面以上デ株式ヲ發行シタ場合ニ、其額面ヲ超エタ金額ト云フモノハ、會社ノ利益トハ見ナイノデセウカ、第二項ヲ能ク讀デ見マスト、利益トハ見ラレヌヤウニ思ハレルノデス、若シ

利益ト見ルナラバ、第一項ノミデ足リル、第二項ヲ設クル必要ハナイヤウニ見受ケル、果シテ利益ト見ヌト云フナラバ、準備金ニ組入レルコトヲ要セザル場合ニハ、ドウ云フヤウナ始末ニスルノデアリマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 無論是ハ利益ナノデス、帳簿上ノ利益損失ト云フノハ、普通ノ意味ニ於ケル必ズ利益損失デナクシテ、從來持シテ居ツタ財產ノ價ガ増シマシテモ、直グソレハ帳簿上ノ計算デハ利益トナリマス、之ハ無論利益デアリマス、併ナガラ一項ノ方ハ利益ノ二十分一ヲ積立テル、コチラハ幾ラ多クテモ苟モ資本ノ四分ノ一二達スルマデハ、皆準備金ニ入レナケレバナラスト云フコトハ違ヒマス

○(花井卓藏君) 尚ホ同條ニ附イテ尋ネマスガ、同條ノ二項ノ規定ニ反シテ額面ニ超ユル金額ヲ處分ヲ致シマスルトキニハ、會社ノ債權者ト云フモノハ、返還ヲ請求スルコトが出來ルノデアリマセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) 其場合ノ制裁ト云フモノハ、後ニ二百六十二條ノ第七號ノ制裁ダケデアツテ……

○(花井卓藏君) 單ニ制裁ダケニ止マツテ、會社ノ債權者ト云フモノハ、返還ノ要求ハ出來ヌノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 御問ノ意味ヲ或ハ誤解シテ居ルカモ知レマセガ、斯ウ云フコトデハゴザリマセヌカ、額面ヲ超ユル金額ヲバ、マダ資本ノ四分ノ一一ニ達シナイニ拘ハラズ、準備金ニ組入レズシテ、之ヲ配當シタルトキハト云フノデスカ

○(花井卓藏君) サウデス

○(花井卓藏君) 其場合ハ百九十五條ノ制裁ヲ受ケルノデスデスカラ、第一項ニ定メタ準備金ト云フモノ、中ニハ、第二項モ伴ウテ行クノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デス

○(花井卓藏君) ソレカラ百九十七條デ、是モ私ニ分ラヌデスガ、法文デハ分シテ居ルカ知レマセヌガ、定款ニ依リテト云フ文字ガアルノデス、此文字ハ拂込タルト云フ文字ニバカリ續クノデスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 左様デス

○(望月長夫君) 一二百四條ニ附イテチヨウト御尋シマスガ、一二百一條ニ依ルト社債券ノ最少額ハ極メテアルケレドモ、最多額ハ極メテナイカラ、五拾圓百圓ノ債券ヲ發行スルコトハ自由ダラウト思フ、所ガ恰モ會社成立ノ場合ニ、資本ヲ一時ニ要セザルト同様ニ、事業擴張ノ場合ニ債券ヲ募集スルヤウナ場合デモ、必シモ最初ニ一度ニ金額ノ要ル譯デハナイト思フ、漸次ニ例ヘバ歲ノ首ニ拾萬圓要リ歲ノ暮ニナラナケレバ、次ギノ拾萬圓ガ要ラナイ場合ガアラウト思フ、所ガ第二百四條ニ依ルト、社債ハ必ズ一時ニ拂フヤウニセネバ、募集ガ出來ヌヤウニ讀メルト思ヒマスガ、サウ云フ趣旨デゴザイマセウカサウスレバ何故ニ公告ナリ何ナリニ隨分費用ガ掛ルコトデゴサイマセウガ、サウ

サヌノデアリマセウカ

○政府委員（梅謙次郎君） 御解釋ノ通り分割ノ許サヌノデス、必ズ全額ヲ拂込マシテモ、ソレハ差支ハゴザイマセヌガ、詰リ全額ヲ拂込マセヌケレバ、登記ハ出來ヌト云フ結果ニナリマス、ナゼサウ云フ風ニ致スカト申シマスルト、此株金ト云フモノハ、是ハ第三者ニ對スル所ノ擔保トナシテ、詰リ信用ノ基本トナル、ソレ故ニ全部拂込マセヌデモ、拂込セルヤウニナツテ居レバ、ソレガ即チ擔保トナリ、ソレガ即チ信用ノ基本トナル、之ニ反シテ社債ト云フモノハ、ドウセ返サナケレバナラヌモノデアリマスカラ、之ハ唯豫メ約束ダケシテアル、即チ社債權者ハ今ハ半分拂ッテ居ルガ、アト半分ハ拂フ義務ガアルカラト云フガタメニ、別ニ債權者ノ擔保ヲ増スデモナシ、別ニ會社ノ信用ヲ増加スルデモナイ、シテ見レバ詰リ一時ニ拂込マナイ社債ト云フモノヲ捨ヘテ置クト云フコトハ、ソレハ固ヨリ利益ノ上カラ見レバ、利益モアリマセウケレドモ、隨分弊ノ方カラ考ヘマスルト、唯チヨット景氣ノ好イ時ニ今要リモシナイ社債ヲ募集シテ置イテ、サウシテ社債券デ以テ、謂ハゞ登記ヲナスコトが出來ル、丁度一時株式熱ノ熾ナリシ時節ニ、餘リ必要ノナイ會社ヲ興シテ、一時ノ拂込シテ、ズンヽ＼ 流用シテ儲ケタモノモアリ、損シタモノモアル、其結果經濟社會ノ恐慌ヲ來タシタト云フヤウナコトガアル、株主ノ方デハソレヲ全ク禁ズルコトハ出來マセヌケレドモ、社債ノ方デハサウシナクテモ要ル丈ヅ、募集シティケバ宜イデハナイカ、時トシテハ今日其募集ガ出來ルガ、後ニハ募集ガ出來ナイト云フ場合モアリマセウガ、サウ云フ節ニハ名義ダケ募集シテ置イテモ、卒拂込ト云フ場合ニ、矢張リ經濟上困難ノ場合ニハ、拂込メマセヌ、サウ云フコトガアレバ、却テ會社ノ事業ノ頓挫ヲ來シテ宜クナイカラ、矢張リ要ル程ヅ、即チ社債ヲ募ル上ニ付イテ投機ノ機械ニ用井ヌヤウニスルト云フノデ、是非全額ト云フコトニシタノデアリマス○（望月長夫君） 社債ヲ次第拂込ムコトヲ許サヌト云フコトニシテ、今ノ御望ミガ達セラレルデゴザイマセウカ、果シテ會社ガ投機ノ事業ヲナスガタメニ、社債ヲ募ルヤウナ恐レガアリトスレバ、不用ノモノヲ尙更一時ニ多ク出來ルヤウニナリハシマセヌカ

○政府委員（梅謙次郎君） 會社ガ投機ヲスルタメニ、社債ヲ募ルト云フコト申スノデハナイ、其社債ノ募リニ應ジヤウ、又ハ社債ニ應ジテ、初メノ時分ニ澤山引受ケテ置イテ、ソレヲ高ク賣ツテ儲ケヤウ、サウ云フ人ノコトヲ云ノデゴザイマス、ソレノ投機デス、株式ニ附イテハ有力ナ發起人會社ノ設立ニ與ツテ力アル重モナル人間ガ、株ヲドッサリ引受ケテ置イテ、一度ニ拂ッテ直グソレヲ使フ、ソレト同ジヤウニ、此社債ヲ募集スル際ニ當ツテモ、其人ハ或ハ會社ニ關係ノ深イ人カモ知レナイ、誰デモ宣シイガ、其社債ノ募リニ初メニ應ジタ人ガ、名義ハ百圓ノ社債デ、貳拾圓ダケ拂ヘバ百圓ノ資本ニ付イテ登記ガ出來ルノデス、ドウシテモ投機ヲ促スコトニナリマス

○（望月長夫君） 應募者ノ投機ガ從ツテ會社ノ投機ニナルノデスカ
○政府委員（梅謙次郎君） 實際ニ於テハ…
○委員長（大岡育造君） 少シ靜カニナサラヌト、速記ガ困リマス、今日ハ是丈デ止メテ、明日十時カラ始メマス

午後五時五十一分散會

明治三十二年二月十七日印刷

明治三十二年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局